

7 子どもの土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

(1) 土曜日と日曜日・祝日の利用希望

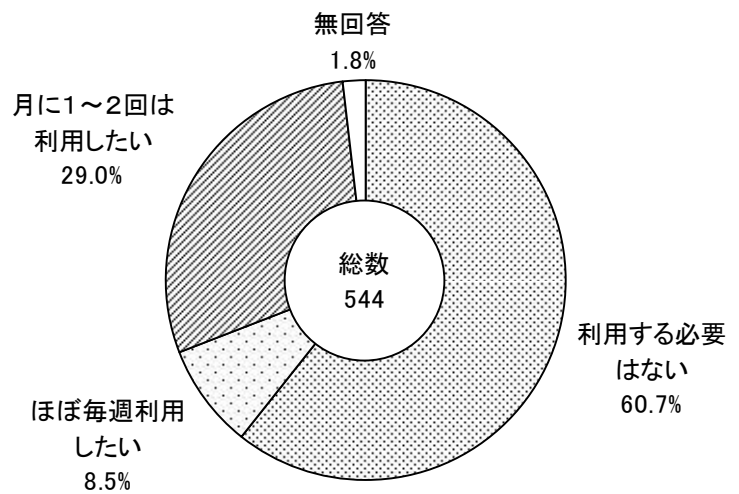
問 24 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 09 時～18 時 のように 24 時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育園、認定こども園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

【土曜日】

①利用希望

「利用する必要はない」が 60.7%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が 29.0%、「ほぼ毎週利用したい」が 8.5%となっています。

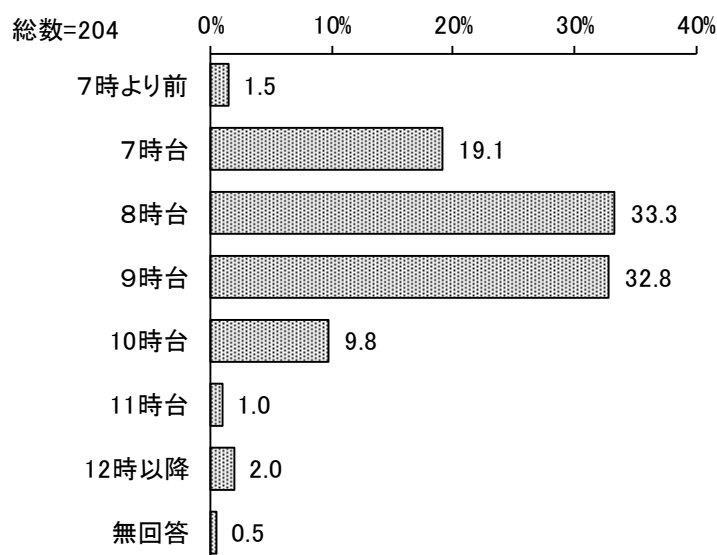


居住地区別に見ると、「ほぼ毎週利用したい」という回答では井野中学校区が 20.0%、根郷中学校区が 19.1%、「月に1～2回は利用したい」という回答では臼井中学校区が 44.4%、臼井南中学校区が 40.0%と、他の地区と比較して多くなっています。

		全体	利用する 必要はな い	ほ ぼ 毎 週 利 用 し た い	月 に 1 ～ 2 回 は 利 用 し た い	無 回 答
全体		544 100.0	330 60.7	46 8.5	158 29.0	10 1.8
居住 地 区	佐倉中学校区	58 100.0	39 67.2	2 3.4	17 29.3	- -
	志津中学校区	89 100.0	51 57.3	9 10.1	29 32.6	- -
	上志津中学校区	33 100.0	21 63.6	4 12.1	7 21.2	1 3.0
	南部中学校区	34 100.0	22 64.7	3 8.8	9 26.5	- -
	臼井中学校区	36 100.0	19 52.8	1 2.8	16 44.4	- -
	井野中学校区	40 100.0	23 57.5	8 20.0	9 22.5	- -
	佐倉東中学校区	35 100.0	26 74.3	1 2.9	8 22.9	- -
	臼井西中学校区	28 100.0	15 53.6	3 10.7	7 25.0	3 10.7
	西志津中学校区	58 100.0	40 69.0	2 3.4	14 24.1	2 3.4
	臼井南中学校区	40 100.0	21 52.5	1 2.5	16 40.0	2 5.0
	根郷中学校区	47 100.0	29 61.7	9 19.1	8 17.0	1 2.1
	無回答	46 100.0	24 52.2	3 6.5	18 39.1	1 2.2

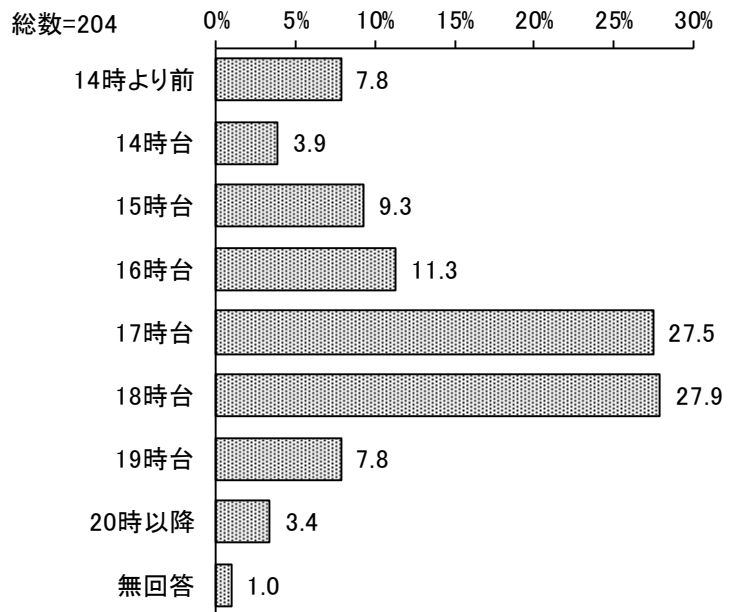
②利用したい時間帯（開始時間）

「利用したい」と回答した人の希望する利用開始時間は、「8時台」が 33.3%で最も多く、次いで「9時台」が 32.8%、「7時台」が 19.1%となっています。



③利用したい時間帯（終了時間）

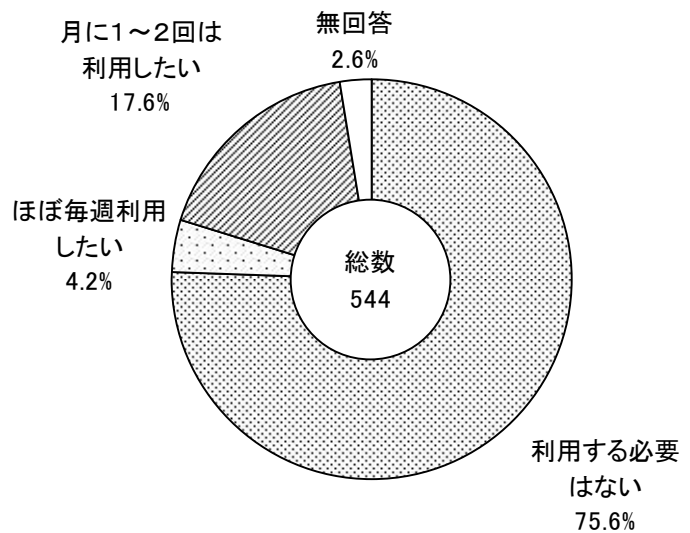
「利用したい」と回答した人の希望する利用終了時間は、「18時台」が27.9%で最も多く、次いで「17時台」が27.5%、「16時台」が11.3%となっています。



【日曜日・祝日】

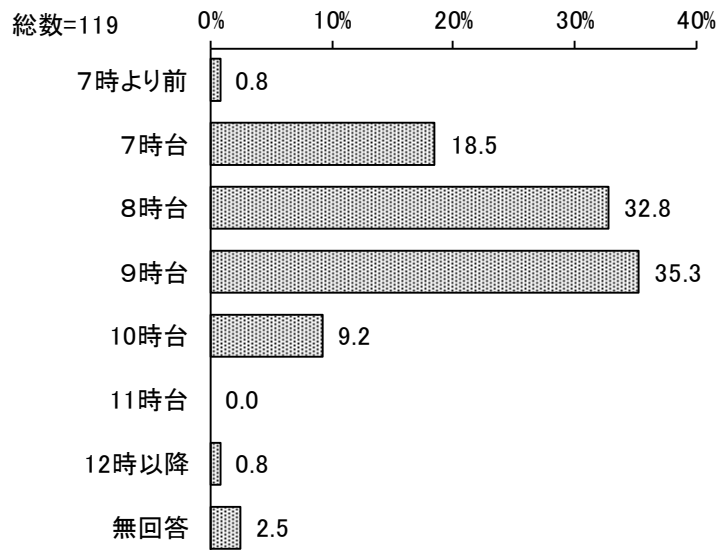
①利用希望

「利用する必要はない」が75.6%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が17.6%、「ほぼ毎週利用したい」が4.2%となっています。



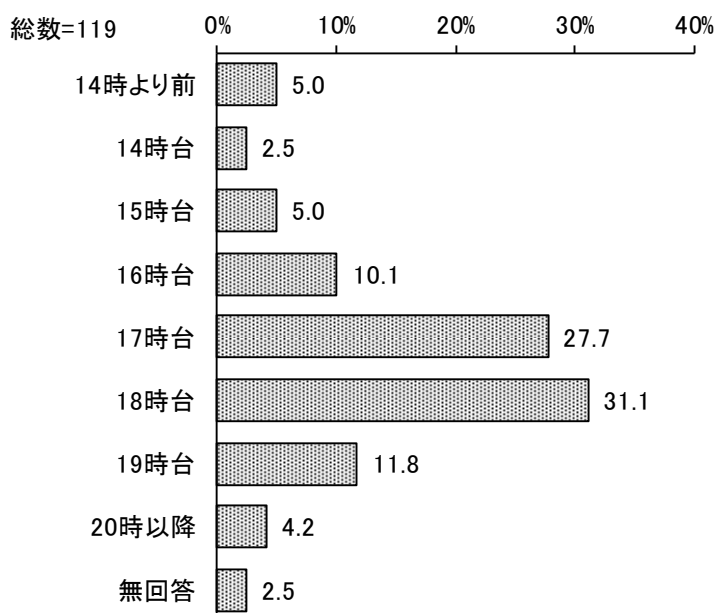
②利用したい時間帯（開始時間）

「利用したい」と回答した人の希望する利用開始時間は、「9時台」が35.3%で最も多く、次いで「8時台」が32.8%、「7時台」が18.5%となっています。



③利用したい時間帯（終了時間）

「利用したい」と回答した人の希望する利用終了時間は、「18時台」が31.1%で最も多く、次いで「17時台」が27.7%、「19時台」が11.8%となっています。

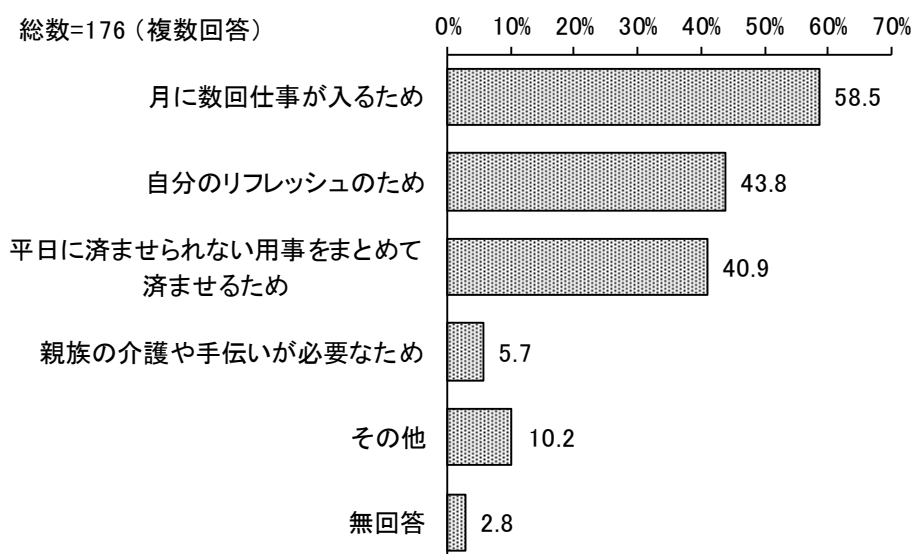


(2) 土曜日、日曜日・祝日にたまに利用したい理由

問24-1 問24の(1)または(2)で「3. 月に1~2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「月に数回仕事が入るため」が58.5%で最も多く、次いで「自分のリフレッシュのため」が43.8%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が40.9%となっています。



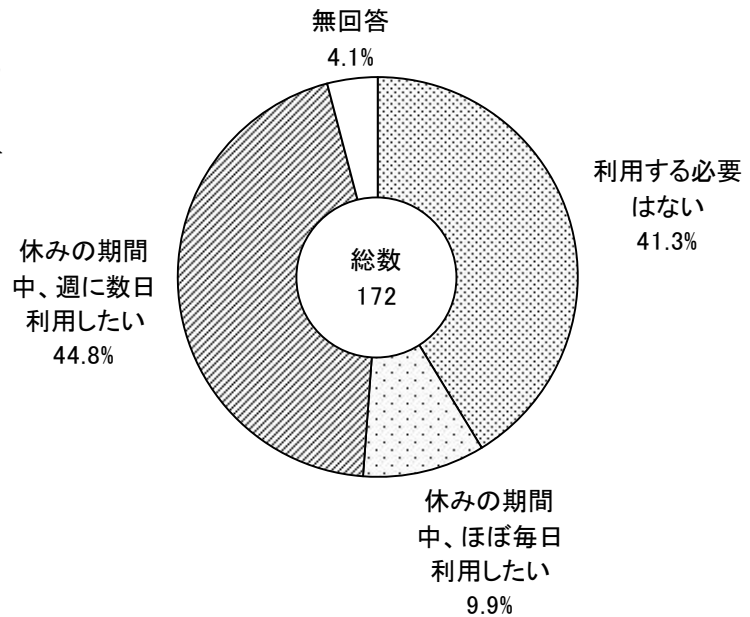
(3) 幼稚園部分の利用者の長期休暇中の利用希望

幼稚園や認定こども園の幼稚園部分を利用されている方にうかがいます。

問 25 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 09 時～18 時 のように 24 時間制でご記入ください (数字は一枠に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

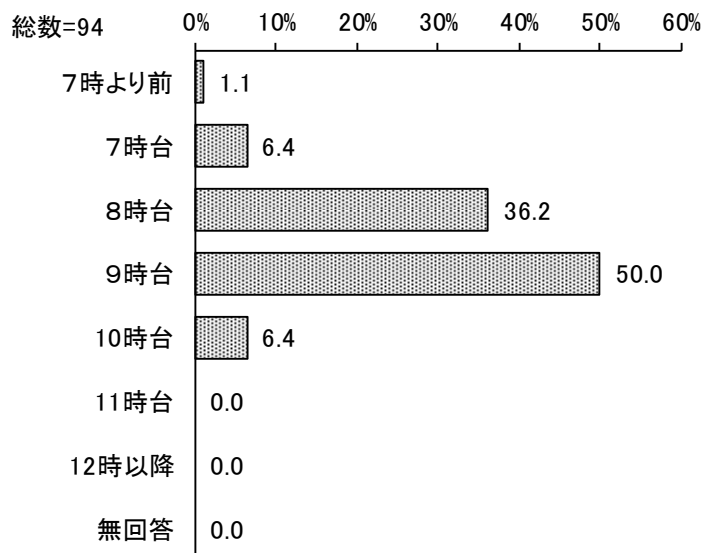
①利用希望

「休みの期間中、週に数日利用したい」が 44.8%で最も多く、次いで「利用する必要はない」が 41.3%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 9.9%となっています。



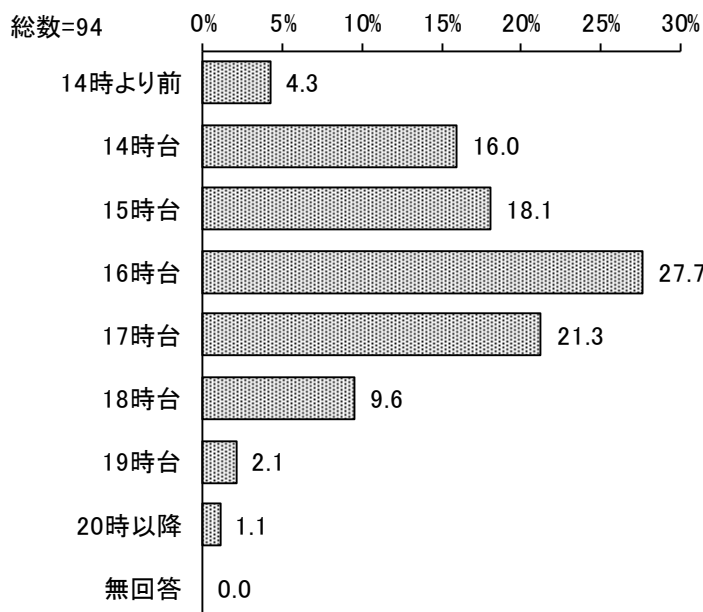
②利用したい時間帯 (開始時間)

「利用したい」と回答した人の希望する利用開始時間は、「9 時台」が 50.0%で最も多く、次いで「8 時台」が 36.2%、「7 時台」と「10 時台」がそれぞれ 6.4%となっています。



③利用したい時間帯（終了時間）

「利用したい」と回答した人の希望する利用終了時間は、「16時台」が27.7%で最も多く、次いで「17時台」が21.3%、「15時台」が18.1%となっています。

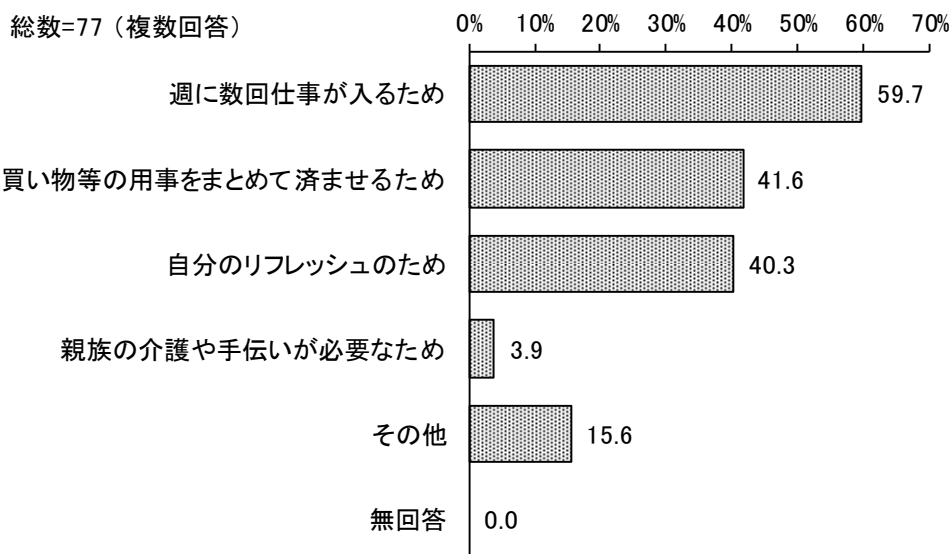


(4) 長期休暇中にたまに利用したい理由

問25-1 問25で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「週に数回仕事が入るため」が59.7%で最も多く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が41.6%、「自分のリフレッシュのため」が40.3%となっています。



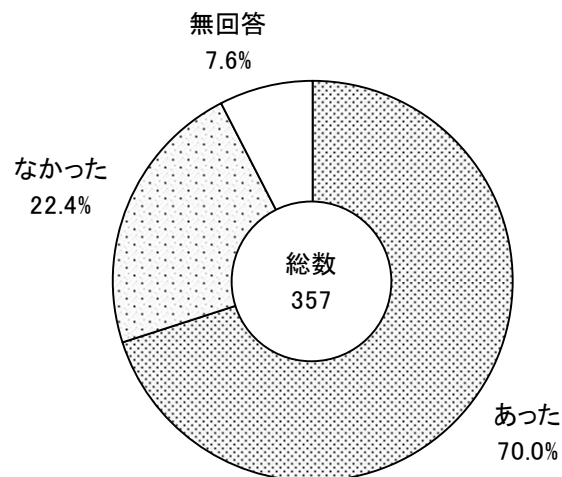
8 子どもの病気の際の対応について

(1) 病気やケガで利用できなかったことの有無

問 26 平日の定期的な教育・保育の事業（問 16 の事業）を利用していると答えた保護者の方にかがいます。該当しない方は、問 27 へお進みください。

この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

「あった」が 70.0%、「なかった」が 22.4%となっています。



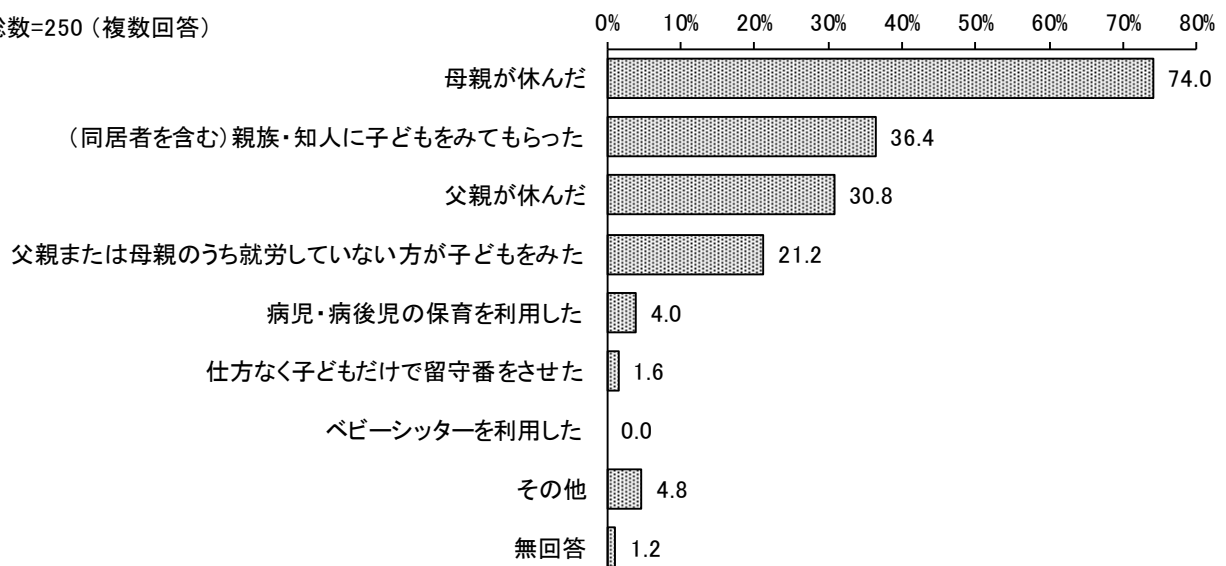
(2) 対処方法

問 26-1 この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に行った対処方法として、当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください。（数字は一桁に一字）

① 対処方法

「母親が休んだ」が 74.0%で最も多く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が 36.4%、「父親が休んだ」が 30.8%となっています。

総数=250 (複数回答)



②対処方法別の日数

「父親が休んだ」では「2日」が26.0%で最も多く、次いで「1日」が19.5%、「5日」が15.6%となっています。

「母親が休んだ」では「5日」が18.9%で最も多く、次いで「2日」が16.8%、「10日」が13.0%となっています。

「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」では「3日」が18.7%で最も多く、次いで「2日」が17.6%、「1日」が15.4%となっています。

「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」では「3日」が18.9%で最も多く、次いで「7日」が13.2%、「1日」、「5日」、「10日」がそれぞれ9.4%となっています。

	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日
父親が休んだ	77 100.0	15 19.5	20 26.0	7 9.1	5 6.5	12 15.6	1 1.3	5 6.5	1 1.3	-
母親が休んだ	185 100.0	9 4.9	31 16.8	20 10.8	9 4.9	35 18.9	6 3.2	9 4.9	6 3.2	-
(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	91 100.0	14 15.4	16 17.6	17 18.7	3 3.3	13 14.3	1 1.1	2 2.2	1 1.1	-
父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	53 100.0	5 9.4	3 5.7	10 18.9	3 5.7	5 9.4	1 1.9	7 13.2	-	1 1.9
病児・病後児の保育を利用した	10 100.0	2 20.0	1 10.0	5 50.0	-	1 10.0	1 10.0	-	-	-
ベビーシッターを利用した	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	4 100.0	2 50.0	2 50.0	-	-	-	-	-	-	-
その他	12 100.0	-	2 16.7	1 8.3	1 8.3	1 8.3	-	1 8.3	-	-

	10日	11日 15日	16日 20日	21日以上	無回答
父親が休んだ	4 5.2	-	-	1 1.3	6 7.8
母親が休んだ	24 13.0	10 5.4	7 3.8	6 3.2	13 7.0
(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	13 14.3	2 2.2	2 2.2	2 2.2	5 5.5
父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	5 9.4	2 3.8	2 3.8	4 7.5	5 9.4
病児・病後児の保育を利用した	-	-	-	-	-
ベビーシッターを利用した	- *	- *	- *	- *	- *
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	6 50.0

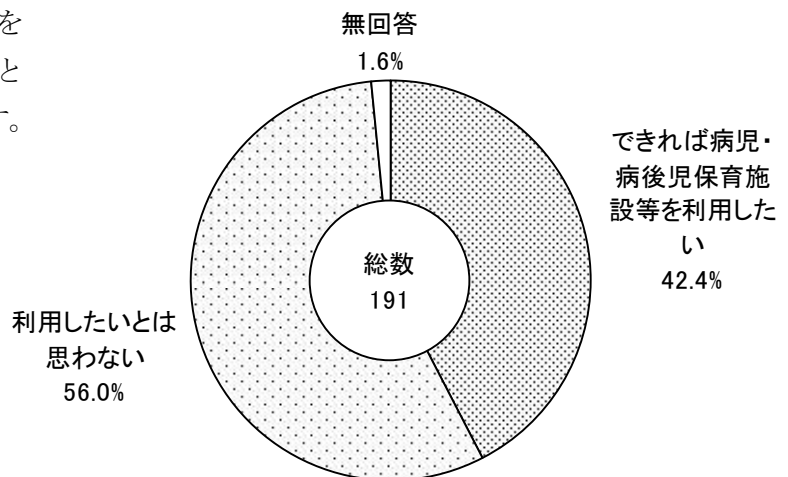
(3) 病児・病後児のための保育施設等の利用希望

問 26-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 26-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用者負担が発生し、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

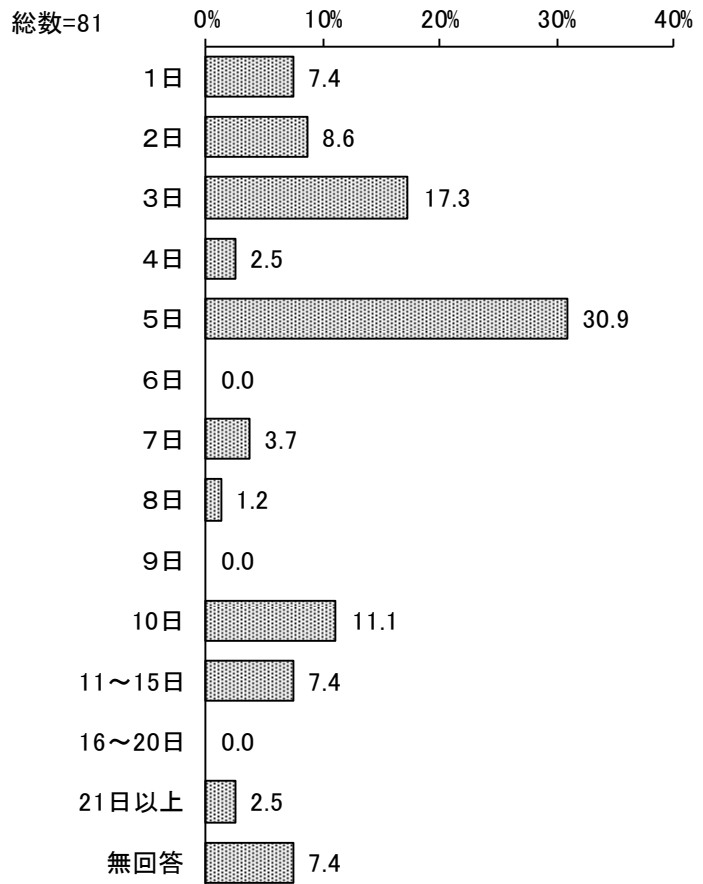
①利用希望

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 42.4%、「利用したいとは思わない」が 56.0%となっています。



②利用希望日数

利用したいと思われた人の利用希望日数は、「5日」が 30.9%で最も多く、次いで「3日」が 17.3%、「10日」が 11.1%となっています。

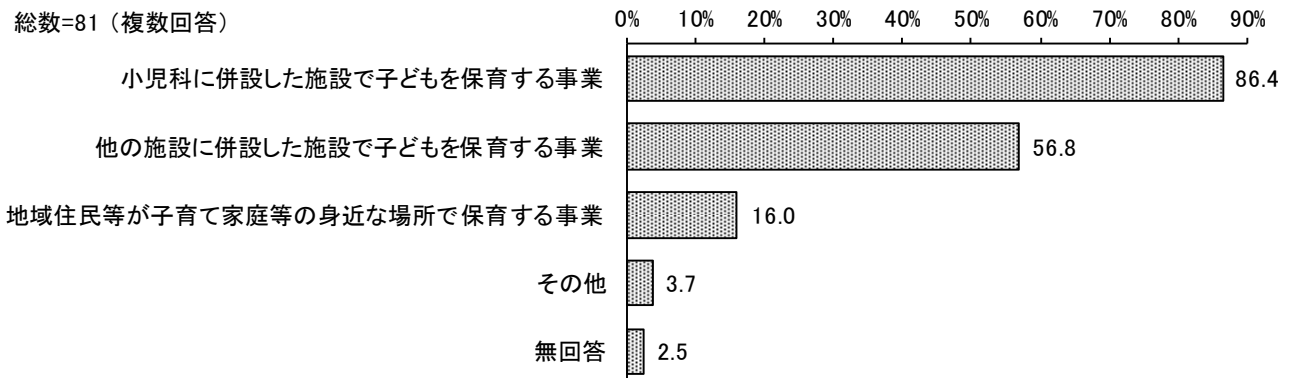


(4) 病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態

問 26-3 問 26-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にかがいます。

お子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 86.4%で最も多く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が 56.8%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」が 16.0%となっています。

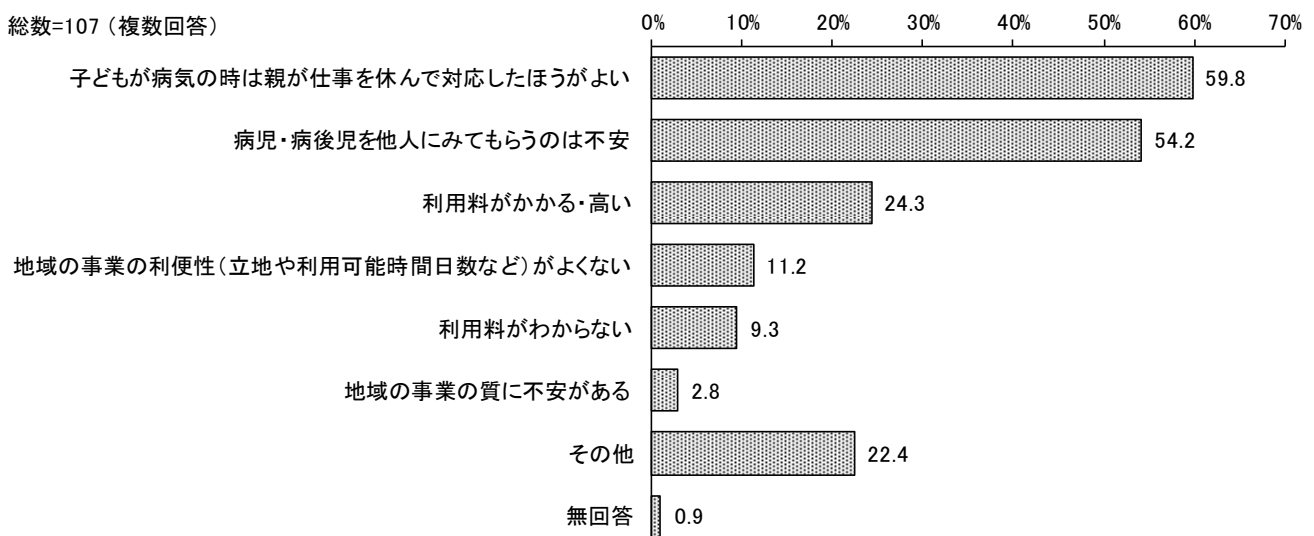


(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない理由

問 26-4 問 26-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にかがいます。

そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもが病気の際は親が仕事を休んで対応したほうがよい」が 59.8%で最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が 54.2%、「利用料がかかる・高い」が 24.3%となっています。



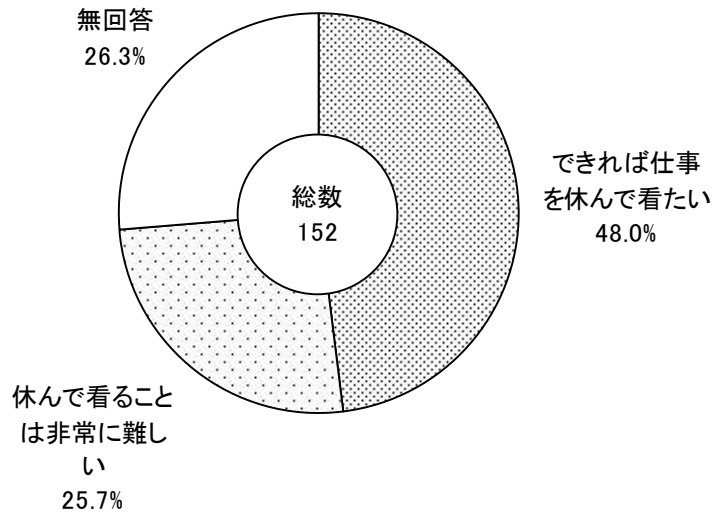
(6) 看病のための休暇取得に対する意向

問 26-1 で「ウ。」から「ク。」のいずれかに回答した方にかがいます。

問 26-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「ウ」から「ク」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

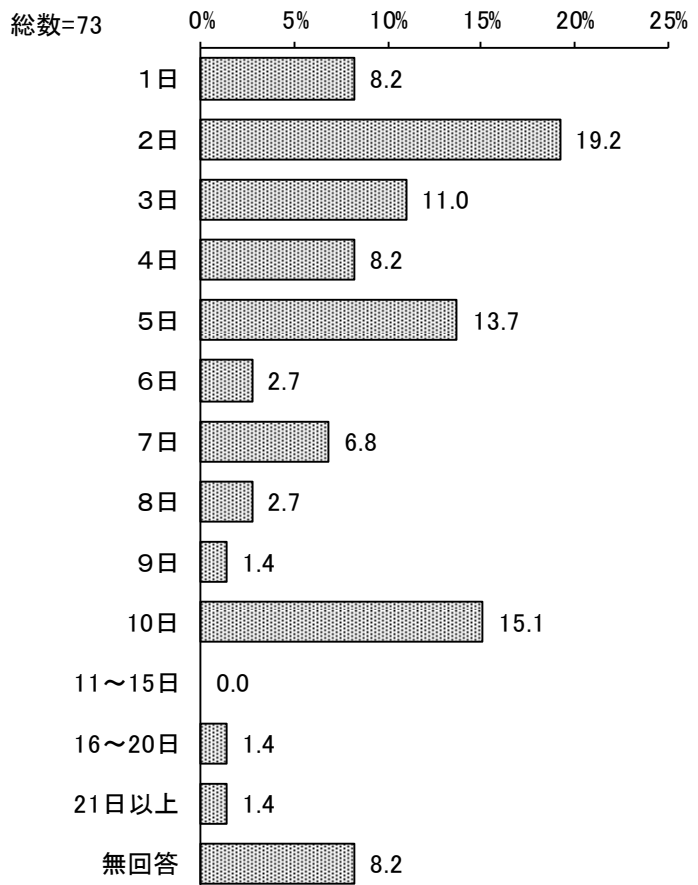
①看病のための休暇取得に対する意向

「できれば仕事を休んで看たい」が 48.0%、「休んで看することは非常に難しい」が 25.7%となっています。



②仕事を休んで見たかった日数

「できれば仕事を休んで看たい」と回答した人が見たかった日数は、「2日」が 19.2%で最も多く、次いで「10日」が 15.1%、「5日」が 13.7%となっています。



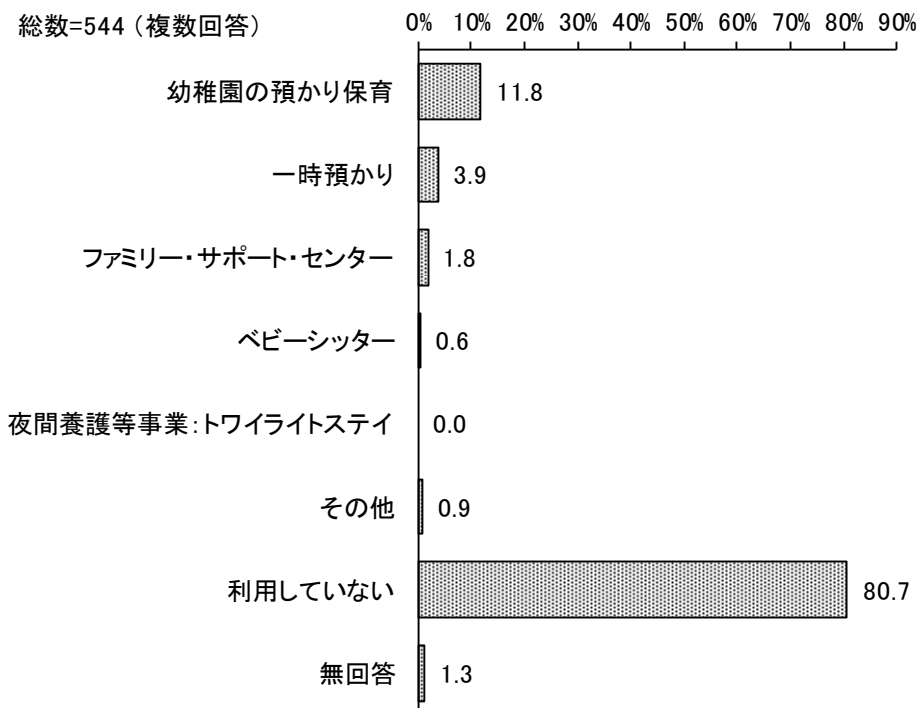
9 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

(1) 利用している事業

問 27 すべての方にうかがいます。宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している施設はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）

①利用している事業

「利用していない」が80.7%で最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が11.8%、「一時預かり」が3.9%となっています。



年齢別に見ると、「幼稚園の預かり保育」という回答では5歳が31.1%と、他の年齢と比較して多くなっています。

	全体	一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・センター	夜間養護等事業：トワイライトステイ	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答	
全体	544 100.0	21 3.9	64 11.8	10 1.8	- -	3 0.6	5 0.9	439 80.7	7 1.3	
年齢	0歳	125 100.0	5 4.0	- -	2 1.6	- -	- 0.8	115 92.0	3 2.4	
	1歳	45 100.0	3 6.7	- -	3 6.7	- -	1 2.2	39 86.7	1 2.2	
	2歳	107 100.0	6 5.6	2 1.9	3 2.8	- -	- 1.9	92 86.0	2 1.9	
	3歳	87 100.0	4 4.6	16 18.4	- -	- -	- -	66 75.9	1 1.1	
	4歳	59 100.0	2 3.4	9 15.3	- -	- -	- 1.7	47 79.7	- -	
	5歳	119 100.0	1 0.8	37 31.1	2 1.7	- -	2 1.7	1 0.8	78 65.5	- -
	無回答	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- 100.0	2 -	- -

現在の家庭類型別に見ると、「幼稚園の預かり保育」という回答ではタイプC'が42.1%と、他の類型と比較して多くなっています。

	全体	一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・センター	夜間養護等事業：トワイライトステイ	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答	
全体	544 100.0	21 3.9	64 11.8	10 1.8	- -	3 0.6	5 0.9	439 80.7	7 1.3	
現在の家庭類型	タイプA ひとり親	27 100.0	2 7.4	2 7.4	1 3.7	- -	- -	22 81.5	- -	
	タイプB フル×フル	172 100.0	5 2.9	3 1.7	4 2.3	- -	2 1.2	156 90.7	2 1.2	
	タイプC フル×パート	71 100.0	3 4.2	5 7.0	1 1.4	- -	- -	61 85.9	1 1.4	
	タイプC' フル×パート	57 100.0	2 3.5	24 42.1	- -	- -	- -	29 50.9	2 3.5	
	タイプD 専業主婦(夫)	202 100.0	9 4.5	30 14.9	4 2.0	- -	- -	158 78.2	2 1.0	
	タイプE パート×パート	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	
	タイプE' パート×パート	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	
	タイプF 無業×無業	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	
	無回答	13 100.0	- -	- -	- -	- -	1 7.7	- -	12 92.3	- -

②利用している事業別の日数

「幼稚園の預かり保育」では「10日」が18.8%で最も多く、次いで「16～20日」と「21日以上」がそれぞれ15.6%となっています。

	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日
一時預かり	21 100.0	-	5 23.8	3 14.3	1 4.8	-	2 9.5	1 4.8	1 4.8	-
幼稚園の預かり保育	64 100.0	2 3.1	5 7.8	5 7.8	-	7 10.9	2 3.1	1 1.6	1 1.6	-
ファミリー・サポート・センター	10 100.0	-	1 10.0	-	2 20.0	1 10.0	1 10.0	-	-	-
夜間養護等事業：トワイライトステイ	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
ベビーシッター	3 100.0	-	-	-	1 33.3	-	-	-	-	-
その他	5 100.0	1 20.0	-	-	1 20.0	-	-	-	-	-

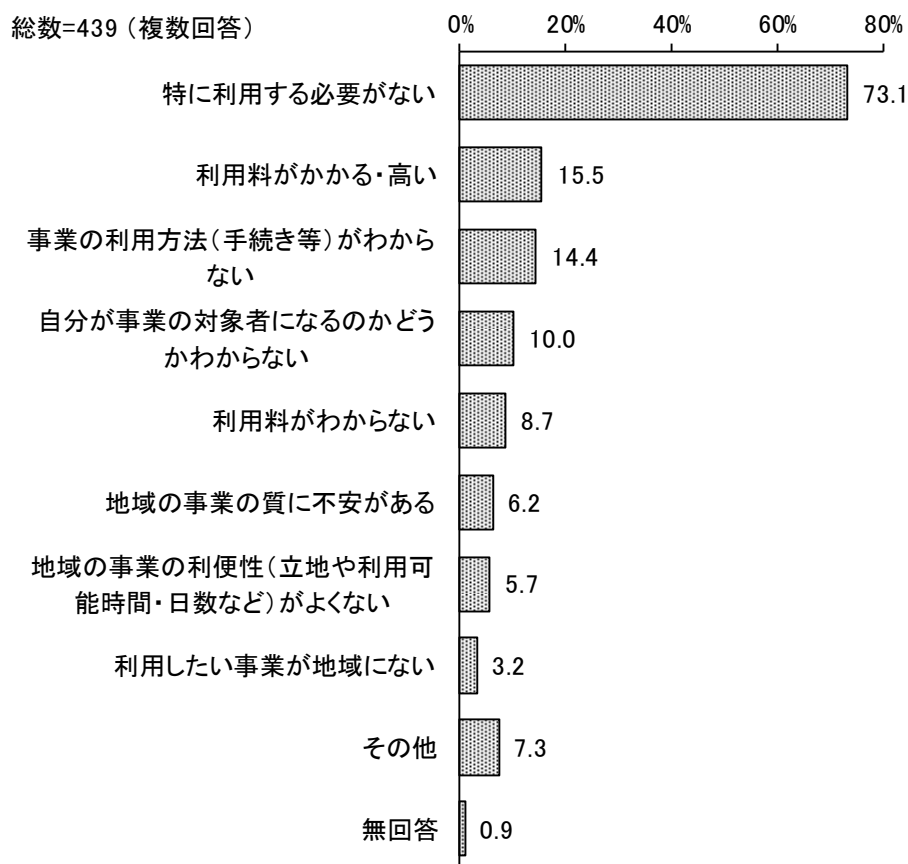
	10日	11～15日	16～20日	21日以上	無回答
一時預かり	2 9.5	1 4.8	2 9.5	2 9.5	1 4.8
幼稚園の預かり保育	12 18.8	5 7.8	10 15.6	10 15.6	4 6.3
ファミリー・サポート・センター	2 20.0	1 10.0	1 10.0	-	1 10.0
夜間養護等事業：トワイライトステイ	- *	- *	- *	- *	- *
ベビーシッター	-	-	-	1 33.3	1 33.3
その他	-	-	1 20.0	2 40.0	-

(2) 利用していない理由

問 27-1 問 27 で「7. 利用していない」に○をつけた方にかがいます。

現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」が 73.1%で最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」が 15.5%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 14.4%となっています。

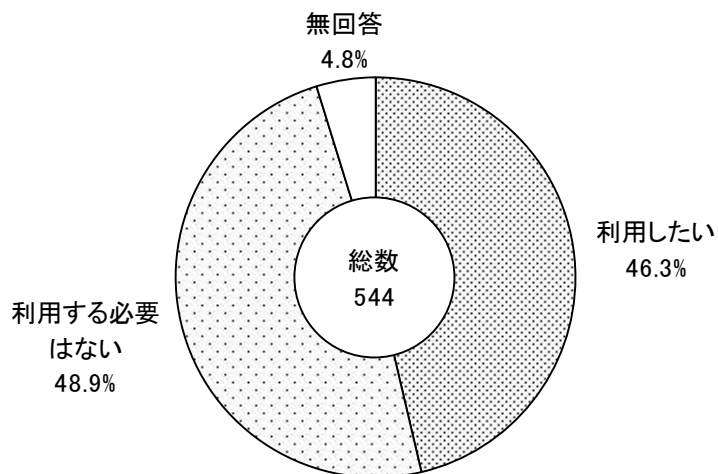


(3) 利用希望

問 28 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、勤務日が一定でない仕事等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用者負担が発生します。

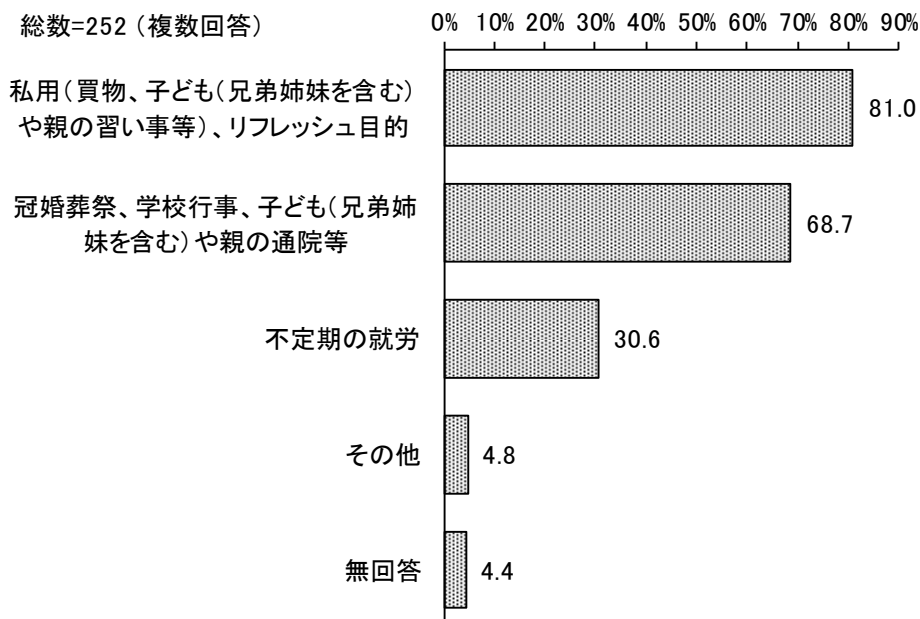
①利用希望

「利用したい」が46.3%、「利用する必要はない」が48.9%となっています。



②利用目的

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が81.0%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が68.7%、「不定期の就労」が30.6%となっています。



③利用したい年間日数と目的別の日数

利用したい年間日数は、「16～20日」と「21～30日」がそれぞれ13.5%で最も多く、次いで「11～15日」が12.3%となっています。

目的別にみると、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」では「11～15日」が22.5%で最も多く、次いで「5日」と「10日」がそれぞれ15.2%となっています。「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」では「5日」が22.0%で最も多く、次いで「10日」が20.2%、「11～15日」が13.3%となっています。「不定期の就労」では「10日」が14.3%で最も多く、次いで「11～15日」、「21～30日」、「31～50」がそれぞれ10.4%となっています。

	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日
事業を利用したい年間日数	252 100.0	1 0.4	4 1.6	3 1.2	1 0.4	8 3.2	7 2.8	4 1.6	2 0.8	2 0.8
私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	204 100.0	5 2.5	10 4.9	8 3.9	2 1.0	31 15.2	10 4.9	3 1.5	1 0.5	1 0.5
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	173 100.0	6 3.5	15 8.7	17 9.8	4 2.3	38 22.0	8 4.6	3 1.7	2 1.2	-
不定期の就労	77 100.0	5 6.5	3 3.9	2 2.6	2 2.6	5 6.5	4 5.2	-	2 2.6	-
その他	12 100.0	1 8.3	-	-	-	3 25.0	-	-	2 16.7	-

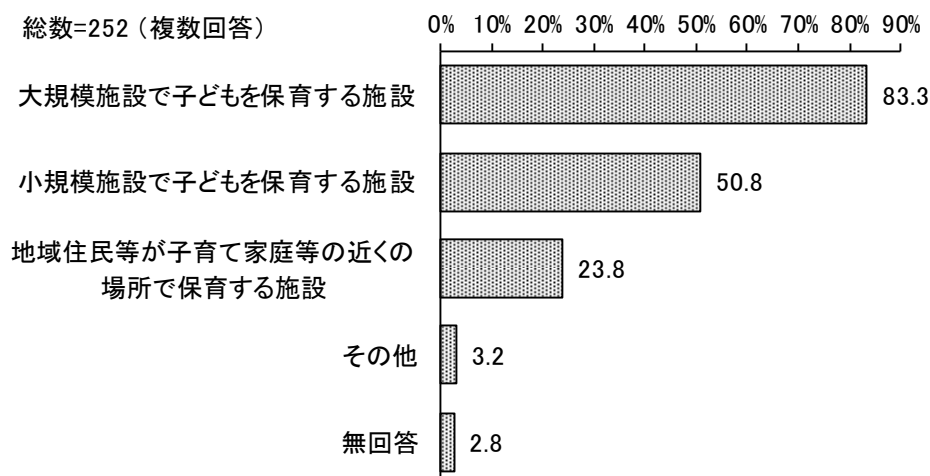
	10日	11～15日	16～20日	21～30日	31～50日	51～60日	81日以上	無回答
事業を利用したい年間日数	26 10.3	31 12.3	34 13.5	34 13.5	18 7.1	18 7.1	10 4.0	49 19.4
私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	31 15.2	46 22.5	9 4.4	21 10.3	15 7.4	2 1.0	1 0.5	8 3.9
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	35 20.2	23 13.3	1 0.6	7 4.0	4 2.3	-	-	10 5.8
不定期の就労	11 14.3	8 10.4	5 6.5	8 10.4	8 10.4	3 3.9	4 5.2	7 9.1
その他	3 25.0	1 8.3	-	-	-	-	-	2 16.7

(4) 預ける施設の望ましい事業形態

問 28-1 問 28 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 28 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「大規模施設で子どもを保育する施設（例：幼稚園・保育園等）」が 83.3%で最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する施設（例：小規模保育事業・地域子育て支援拠点等）」が 50.8%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する施設（例：ファミリー・サポート・センター等）」が 23.8%となっています。

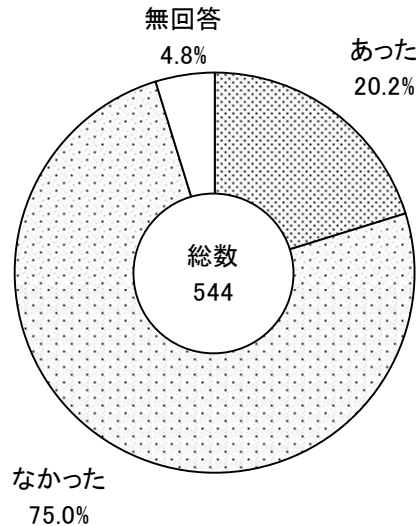


(5) 宿泊を伴う一時預かりの状況

問 29 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

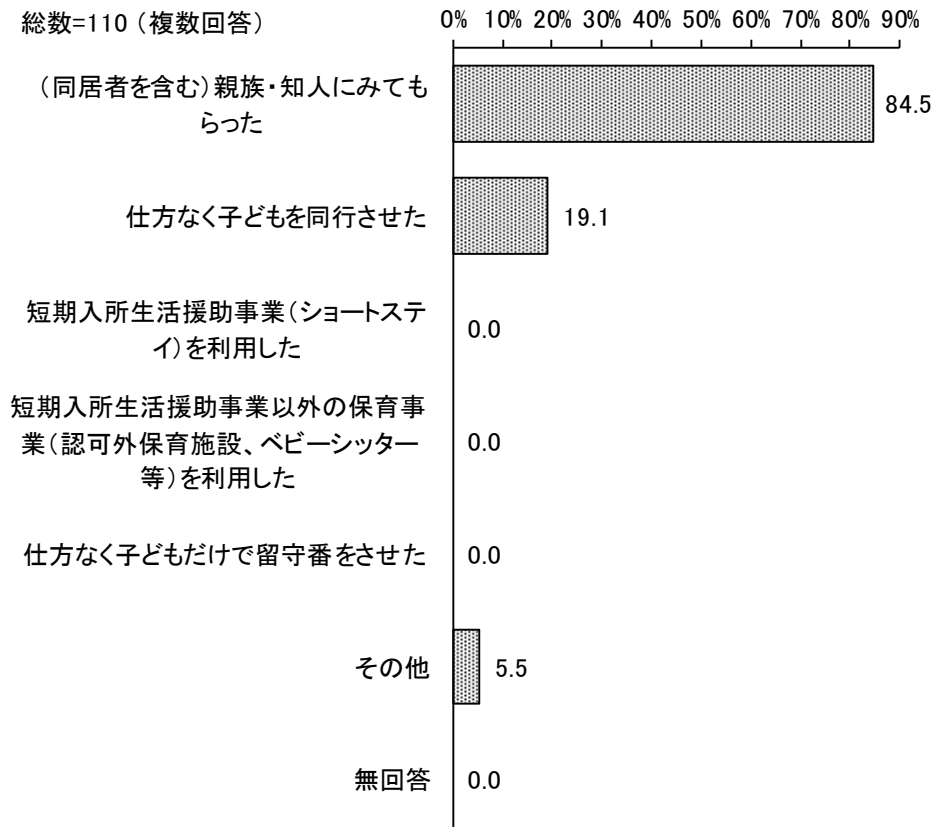
① 宿泊を伴う一時預かりの有無

「あった」が 20.2%、「なかった」が 75.0%となっています。



② 対処方法

「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が 84.5%で最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が 19.1%となっています。



③対処方法別の日数

「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」では「1泊」が21.5%で最も多く、次いで「3泊」が18.3%、「2泊」が12.9%となっています。

	全体	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊
(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	93 100.0	20 21.5	12 12.9	17 18.3	3 3.2	11 11.8	2 2.2	4 4.3	3 3.2	1 1.1
短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
短期入所生活援助事業以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
仕方なく子どもを同行させた	21 100.0	6 28.6	5 23.8	2 9.5	1 4.8	3 14.3	-	-	-	-
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *	- *
その他	6 100.0	1 16.7	1 16.7	-	-	1 16.7	-	-	-	-

	10泊	11~15泊	16~20泊	21泊以上	無回答
(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	3 3.2	4 4.3	4 4.3	5 5.4	4 4.3
短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	- *	- *	- *	- *	- *
短期入所生活援助事業以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	- *	- *	- *	- *	- *
仕方なく子どもを同行させた	-	-	-	-	4 19.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	- *	- *	- *	- *	- *
その他	-	1 16.7	-	1 16.7	1 16.7

10 小学校就学後の放課後の過ごし方について

⇒ 5歳未満の方は、問34へ

(1) 放課後に過ごさせたい場所（低学年）

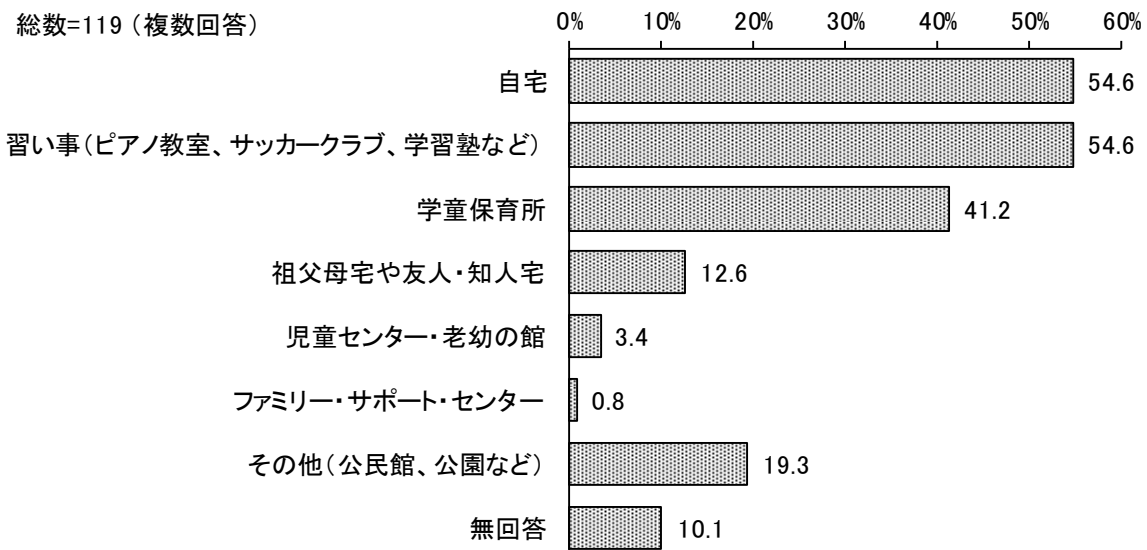
問30 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育所」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）

「学童保育所」…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用者負担が発生します。

※ 児童センター・老幼の館で行う学童保育所を利用したい場合は「5. 学童保育所」に回答してください。

①放課後に過ごさせたい場所（低学年）

「自宅」と「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」がそれぞれ54.6%で最も多く、次いで「学童保育所」が41.2%となっています。



②週当たりの日数

「自宅」では「5日」が33.8%で最も多く、次いで「2日」と「3日」がそれぞれ20.0%となっています。

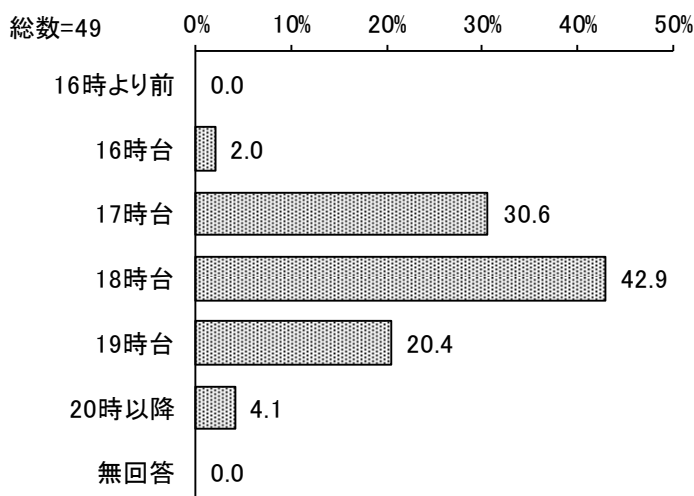
「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」では「1日」が44.6%で最も多く、次いで「2日」が36.9%、「3日」が15.4%となっています。

「学童保育所」では「5日」が51.0%で最も多く、次いで「3日」と「4日」がそれぞれ16.3%となっています。

	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	65 100.0	9 13.8	13 20.0	13 20.0	5 7.7	22 33.8	-	2 3.1	1 1.5
祖父母宅や友人・知人宅	15 100.0	8 53.3	3 20.0	2 13.3	-	1 6.7	-	-	1 6.7
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	65 100.0	29 44.6	24 36.9	10 15.4	2 3.1	-	-	-	-
児童センター・老幼の館	4 100.0	4 100.0	-	-	-	-	-	-	-
学童保育所	49 100.0	1 2.0	5 10.2	8 16.3	8 16.3	25 51.0	1 2.0	-	1 2.0
ファミリー・サポート・センター	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
その他（公民館、公園など）	23 100.0	7 30.4	7 30.4	7 30.4	1 4.3	1 4.3	-	-	-

③学童保育所の希望終了時間

「18時台」が42.9%で最も多く、次いで「17時台」が30.6%、「19時台」が20.4%となっています。



(2) 放課後に過ごさせたい場所（高学年）

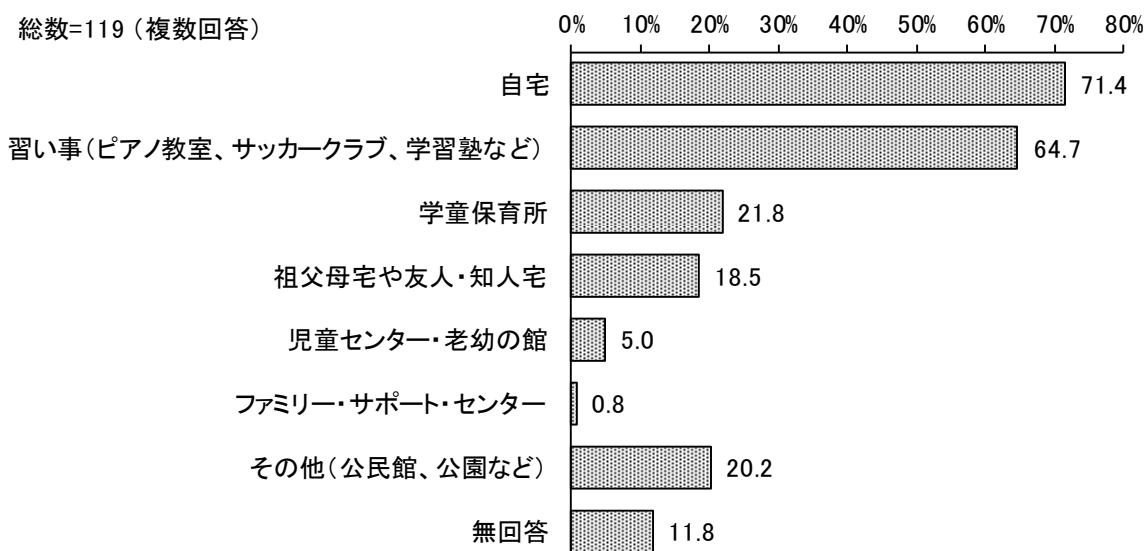
問31 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育所」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※だいたい先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

※ 児童センター・老幼の館で行う学童保育所を利用したい場合は「5. 学童保育所」に回答してください。

①放課後に過ごさせたい場所（高学年）

「自宅」が71.4%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が64.7%、「学童保育所」が21.8%となっています。



②週当たりの日数

「自宅」では「2日」が27.1%で最も多く、次いで「5日」が25.9%、「3日」が23.5%となっています。

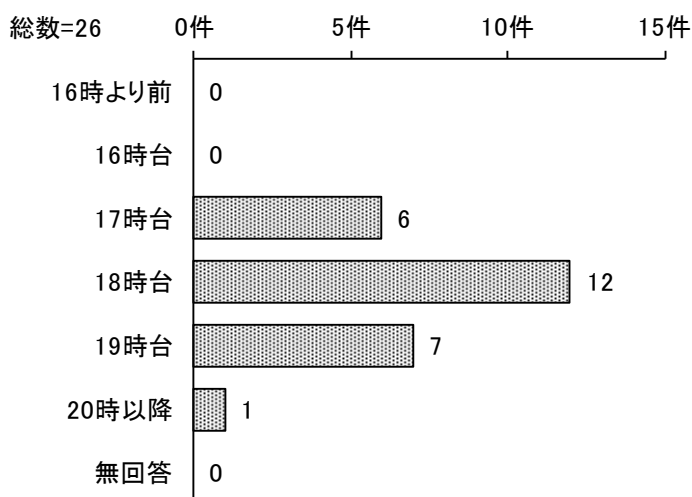
「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」では「2日」が49.4%で最も多く、次いで「3日」が26.0%、「1日」が19.5%となっています。

「学童保育所」では「3日」と「5日」がそれぞれ9件で最も多く、次いで「2日」が5件となっています。

	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	85 100.0	13 15.3	23 27.1	20 23.5	5 5.9	22 25.9	-	1 1.2	1 1.2
祖父母宅や友人・知人宅	22 100.0	12 54.5	7 31.8	1 4.5	-	1 4.5	-	-	1 4.5
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	77 100.0	15 19.5	38 49.4	20 26.0	4 5.2	-	-	-	-
児童センター・老幼の館	6 100.0	4 66.7	-	-	-	2 33.3	-	-	-
学童保育所	26 100.0	1 3.8	5 19.2	9 34.6	2 7.7	9 34.6	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
その他（公民館、公園など）	24 100.0	9 37.5	8 33.3	3 12.5	2 8.3	2 8.3	-	-	-

③学童保育所の希望終了時間

「18時台」が12件で最も多く、次いで「19時台」が7件、「17時台」が6件となっています。



(3) 土曜日、日曜日・祝日の学童保育所の利用希望

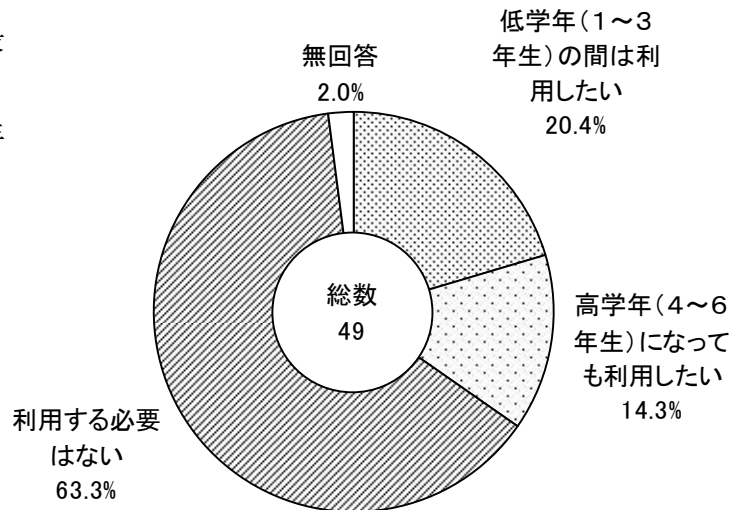
問 32 問 30 または問 31 で「5. 学童保育所」に○をつけた方にかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育所の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

【土曜日】

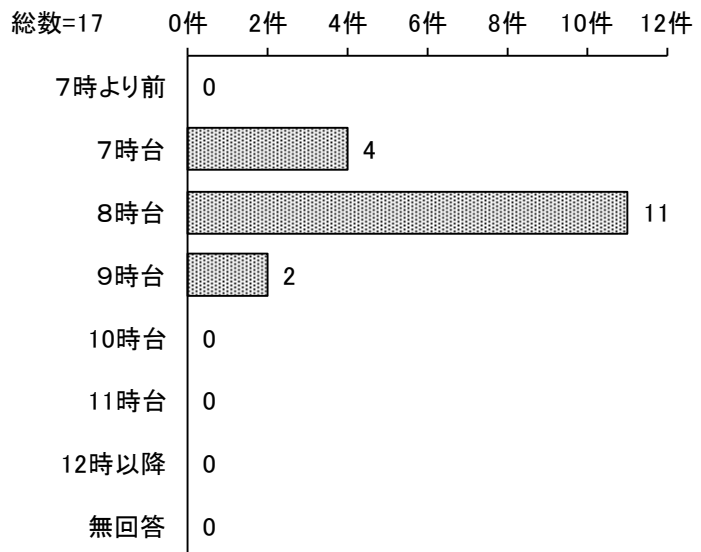
①利用希望

「利用する必要はない」が63.3%で最も多く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が20.4%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が14.3%となっています。



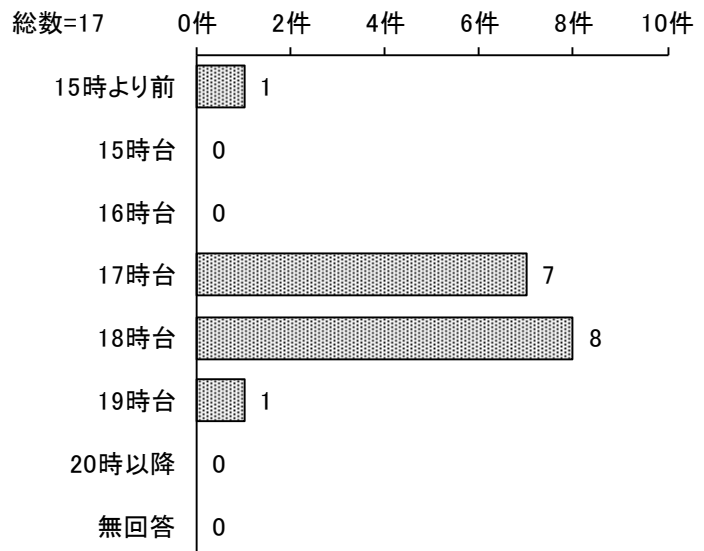
②利用したい時間帯(開始時間)

「利用したい」と回答した人の希望する利用開始時間は、「8時台」が11件で最も多く、次いで「7時台」が4件、「9時台」が2件となっています。



③利用したい時間帯（終了時間）

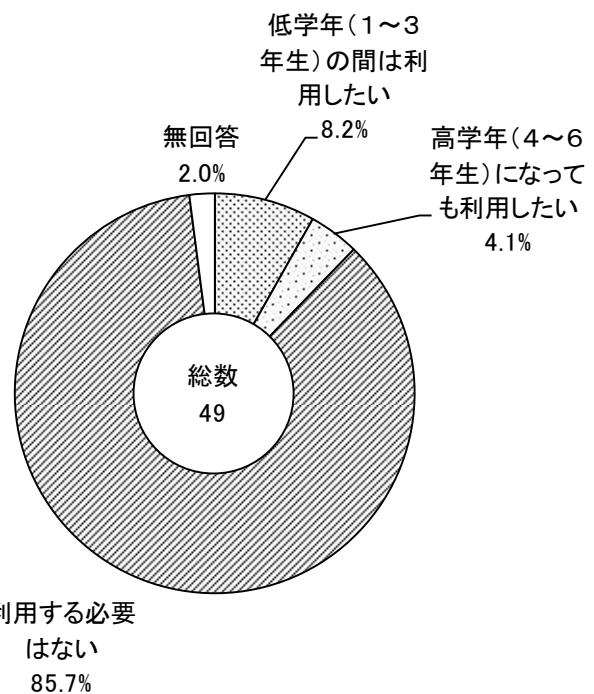
「利用したい」と回答した人の希望する利用終了時間は、「18時台」が8件で最も多く、次いで「17時台」が7件、「15時より前」と「19時台」がそれぞれ1件となっています。



【日曜日・祝日】

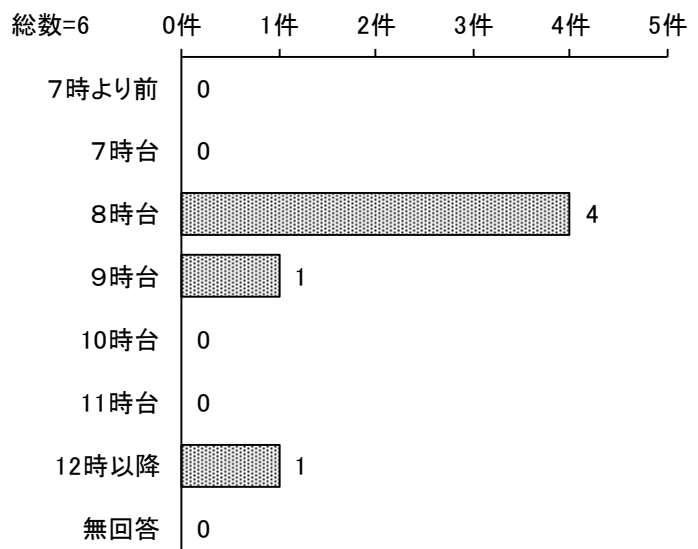
①利用希望

「利用する必要はない」が85.7%で最も多く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が8.2%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が4.1%となっています。



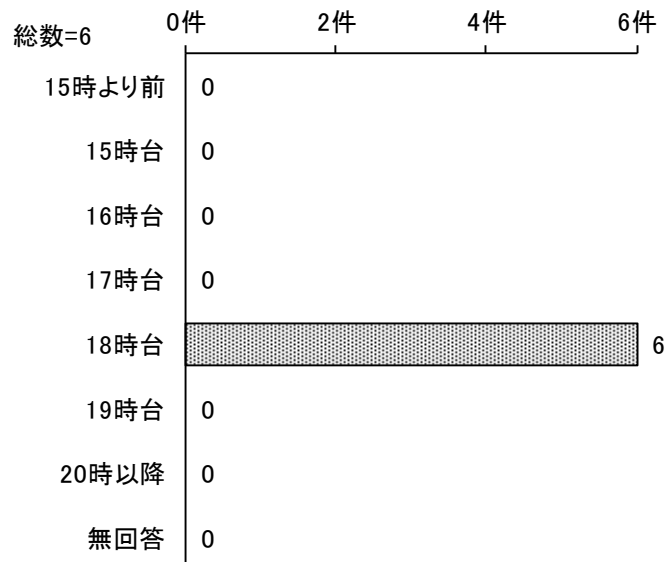
②利用したい時間帯（開始時間）

「利用したい」と回答した人の希望する利用開始時間は、「8時台」が4件で最も多く、次いで「9時台」と「12時以降」がそれぞれ1件となっています。



③利用したい時間帯（終了時間）

「利用したい」と回答した人の希望する利用終了時間は、「18時台」が6件となっています。

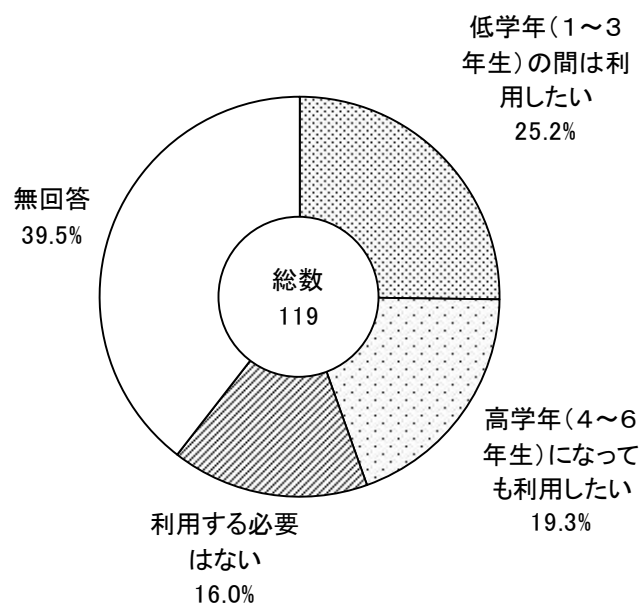


（4）長期休暇期間中の学童保育所の利用希望

問 33 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

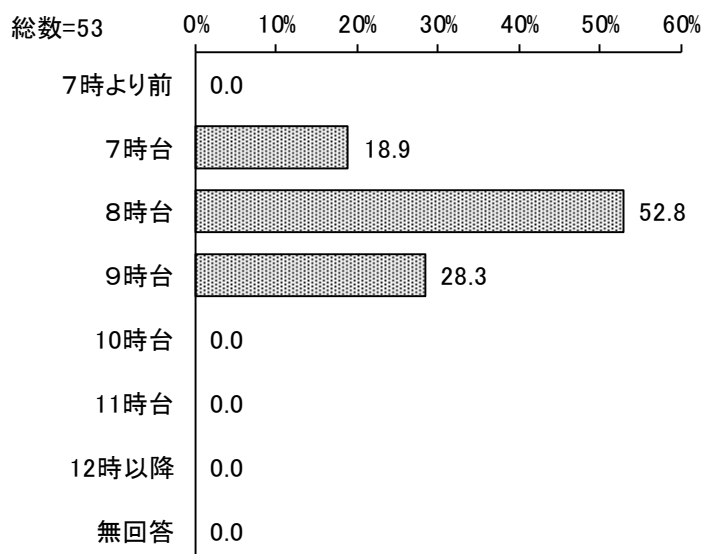
①利用希望

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が25.2%で最も多く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が19.3%、「利用する必要はない」が16.0%となっています。



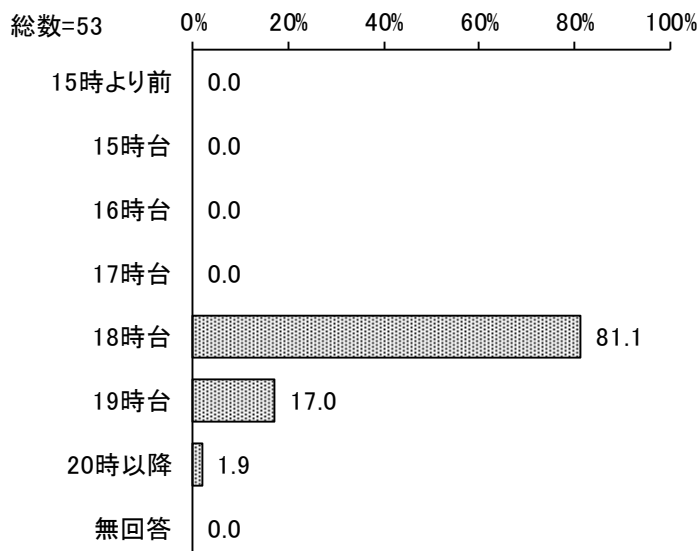
②利用したい時間帯（開始時間）

「利用したい」と回答した人の希望する利用開始時間は、「8時台」が52.8%で最も多く、次いで「9時台」が28.3%、「7時台」が18.9%となっています。



③利用したい時間帯（終了時間）

「利用したい」と回答した人の希望する利用終了時間は、「18時台」が81.1%で最も多く、次いで「19時台」が17.0%、「20時以降」が1.9%となっています。



11 職場の両立支援制度について

問 34～問 34-6 は、母親・父親それぞれについてお答えください。

(ひとり親の方は、ご自身に関する設問のみお答えください。)

(1) 育児休業の取得状況

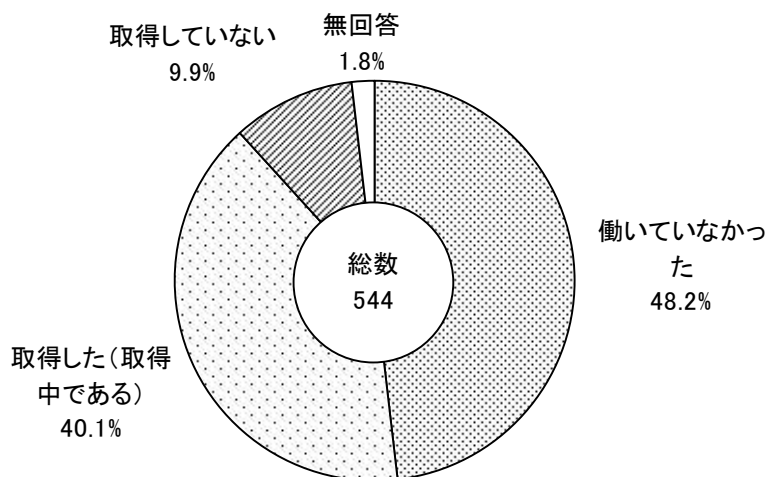
問 34 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

【母親】

①育児休業の取得状況

「働いていなかった」が48.2%で最も多く、次いで「取得した(取得中である)」が40.1%、「取得していない」が9.9%となっています。

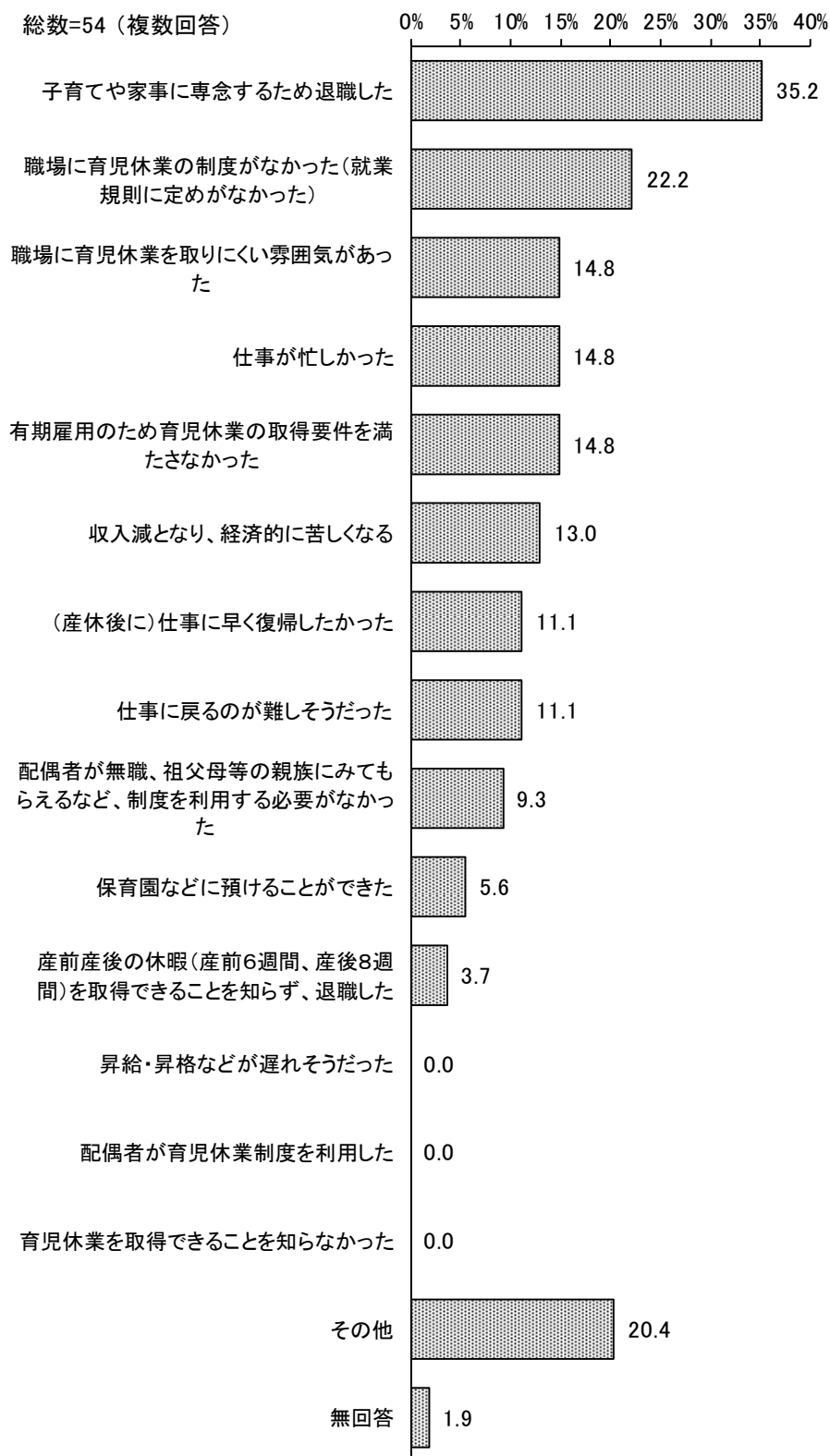


現在の家庭類型別に見ると、「働いていなかった」という回答ではタイプDが82.7%で最も多く、「取得した（取得中である）」という回答ではタイプBが86.6%で最も多くなっています。

		全体	働いていなかった	取得した（取得中である）	取得していない	無回答
全体		544 100.0	262 48.2	218 40.1	54 9.9	10 1.8
現在の家庭類型	タイプA ひとり親	27 100.0	15 55.6	8 29.6	3 11.1	1 3.7
	タイプB フル×フル	172 100.0	7 4.1	149 86.6	14 8.1	2 1.2
	タイプC フル×パート	71 100.0	24 33.8	32 45.1	14 19.7	1 1.4
	タイプC' フル×パート	57 100.0	42 73.7	7 12.3	8 14.0	-
	タイプD 専業主婦（夫）	202 100.0	167 82.7	14 6.9	15 7.4	6 3.0
	タイプE パート×パート	1 100.0	-	1 100.0	-	-
	タイプE' パート×パート	- *	- *	- *	- *	- *
	タイプF 無業×無業	1 100.0	1 100.0	-	-	-
	無回答	13 100.0	6 46.2	7 53.8	-	-

②育児休業を取得していない理由

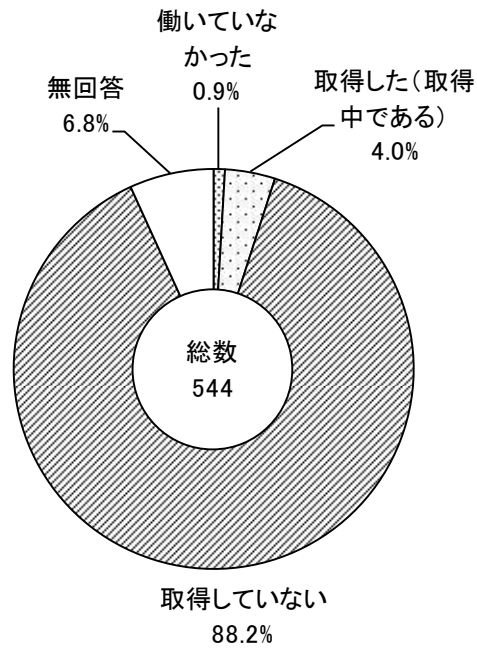
「子育てや家事に専念するため退職した」が35.2%で最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が22.2%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が14.8%となっています。



【父親】

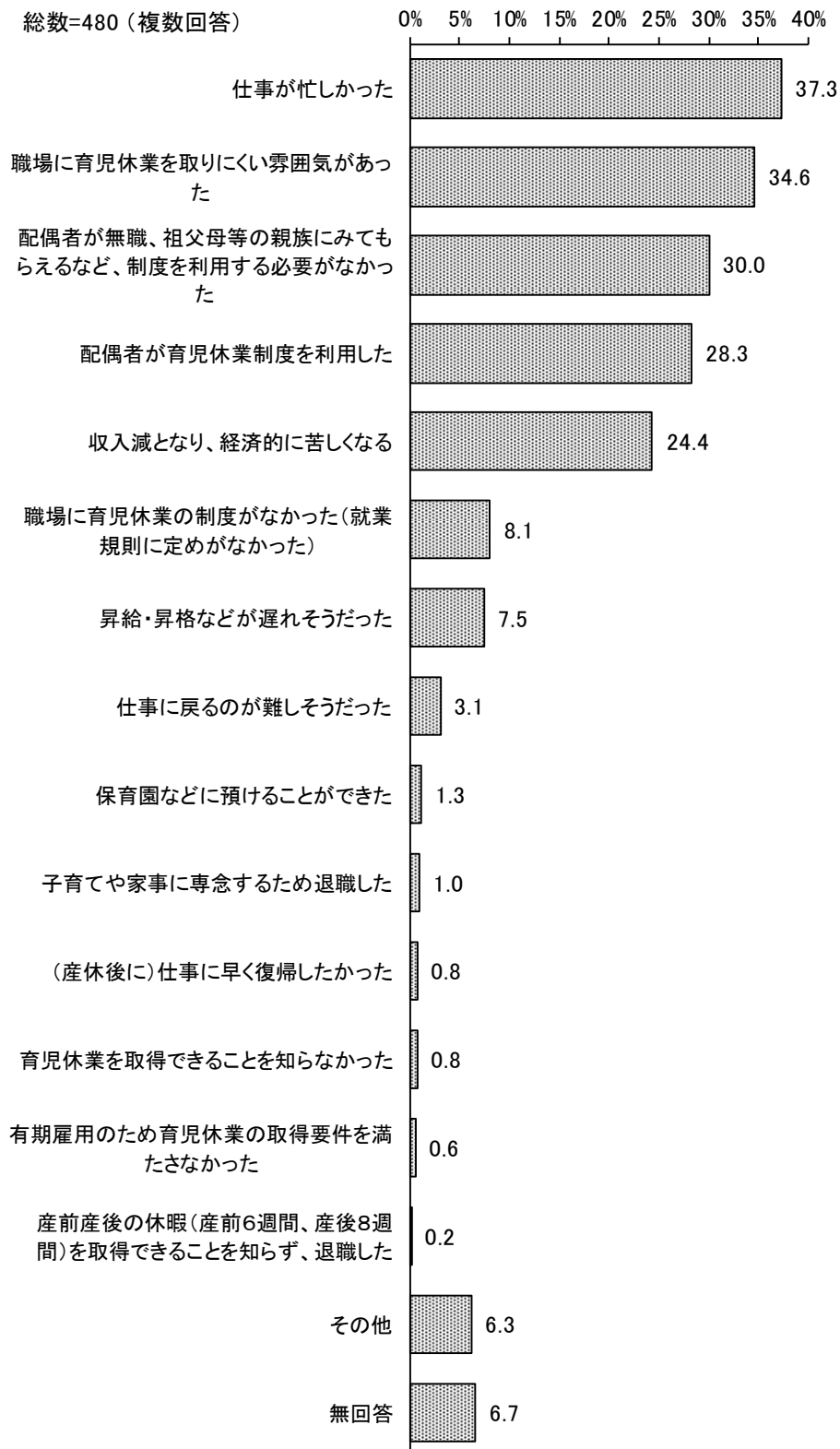
①育児休業の取得状況

「取得していない」が88.2%で最も多く、次いで「取得した（取得中である）」が4.0%、「働いていなかった」が0.9%となっています。



②育児休業を取得していない理由

「仕事が忙しかった」が37.3%で最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が34.6%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が30.0%となっています。



現在の家庭類型別に見ると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」という回答ではタイプC'が45.6%、「配偶者が育児休業制度を利用した」という回答ではタイプBが64.6%と、他の類型と比較して多くなっています。

	全体	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	仕事が忙しかった	(産休後に)仕事に早く復帰したかった	仕事に戻るのが難しそうだった	昇給・昇格などが遅れそうだった	収入減となり、経済的に苦しくなる	保育園などに預けることができた	配偶者が育児休業制度を利用した	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	子育てや家事に専念するため退職した	職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
全体	480 100.0	166 34.6	179 37.3	4 0.8	15 3.1	36 7.5	117 24.4	6 1.3	136 28.3	144 30.0	5 1.0	39 8.1	3 0.6
現在の家庭類型	タイプA ひとり親	9 100.0	2 22.2	5 55.6	-	-	4 44.4	1 11.1	1 11.1	4 44.4	1 11.1	2 22.2	-
	タイプB フル×フル	158 100.0	55 34.8	55 34.8	2 1.3	7 4.4	14 8.9	43 27.2	3 1.9	102 64.6	10 6.3	1 0.6	11 7.0
	タイプC フル×パート	62 100.0	22 35.5	18 29.0	-	1 1.6	5 8.1	16 25.8	2 3.2	22 35.5	15 24.2	-	5 8.1
	タイプC' フル×パート	57 100.0	26 45.6	26 45.6	2 3.5	4 7.0	3 5.3	15 26.3	-	4 7.0	28 49.1	1 1.8	4 7.0
	タイプD 専業主婦(夫)	182 100.0	59 32.4	73 40.1	-	3 1.6	14 7.7	39 21.4	-	4 2.2	84 46.2	2 1.1	16 8.8
	タイプE パート×パート	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-
	タイプE' パート×パート	-	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	タイプF 無業×無業	-	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	無回答	11 100.0	2 18.2	2 18.2	-	-	-	-	-	3 27.3	2 18.2	-	1 9.1

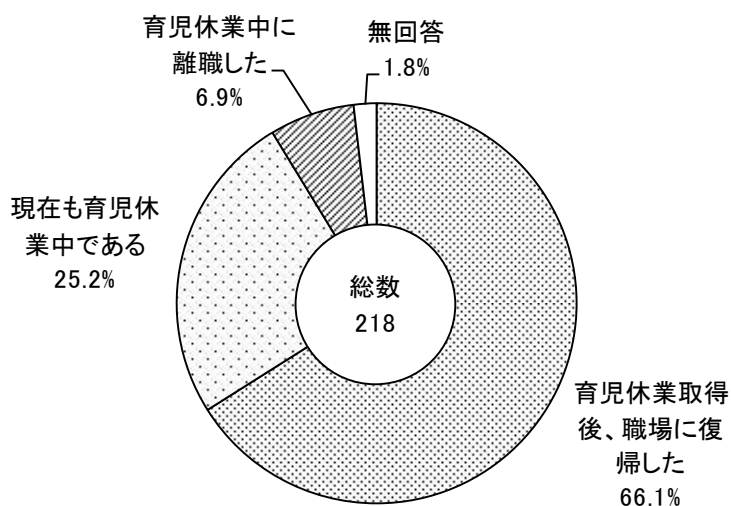
	育児休業を取得できなかった	産前産後の休暇(産前8週間)を取らず、退職した	その他	無回答
全体	4 0.8	1 0.2	30 6.3	32 6.7
現在の家庭類型	タイプA ひとり親	-	-	-
	タイプB フル×フル	2 1.3	-	5 3.2
	タイプC フル×パート	-	-	5 8.1
	タイプC' フル×パート	-	1 1.8	2 3.5
	タイプD 専業主婦(夫)	1 0.5	-	18 9.9
	タイプE パート×パート	-	-	-
	タイプE' パート×パート	*	*	*
	タイプF 無業×無業	*	*	*
	無回答	1 9.1	-	-

(2) 育児休業取得後の職場復帰の状況

問34で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。⇒該当しない方は、問35へ
問34-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

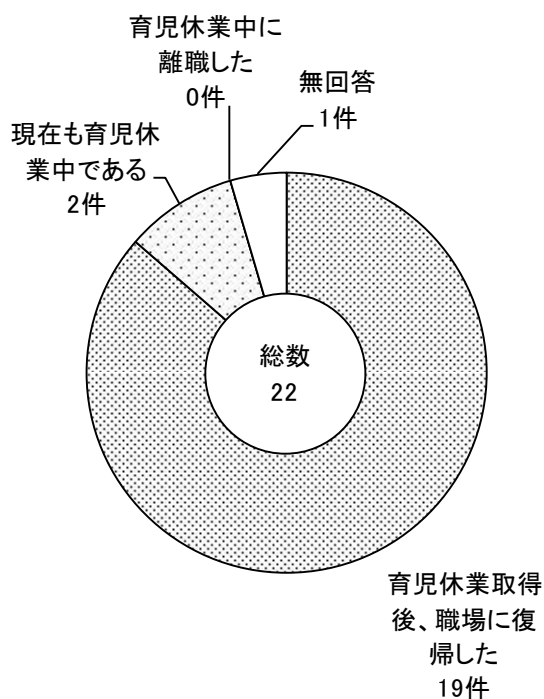
【母親】

「育児休業取得後、職場に復帰した」が66.1%で最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が25.2%、「育児休業中に離職した」が6.9%となっています。



【父親】

「育児休業取得後、職場に復帰した」が19件で最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が2件となっています。



(3) 職場復帰した時期

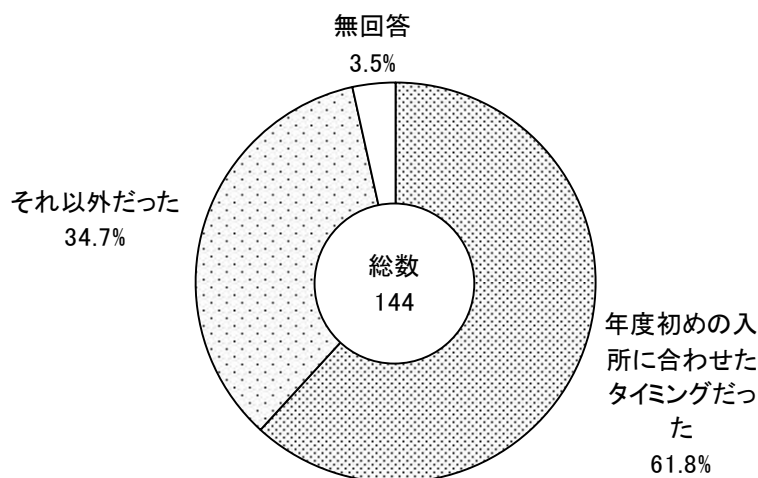
問 34-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 34-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育園入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育園に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

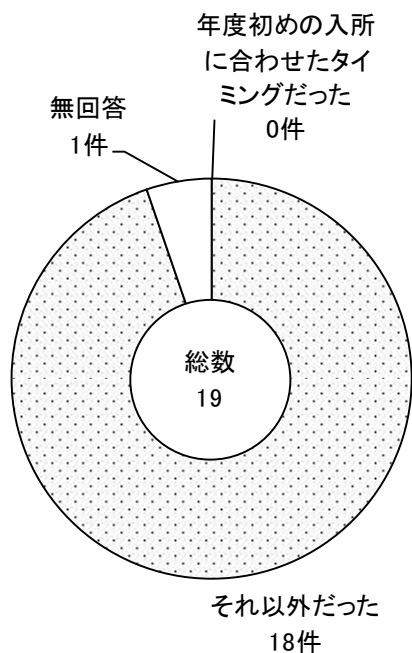
【母親】

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 61.8%、「それ以外だった」が 34.7% となっています。



【父親】

「それ以外だった」が 18 件となっています。



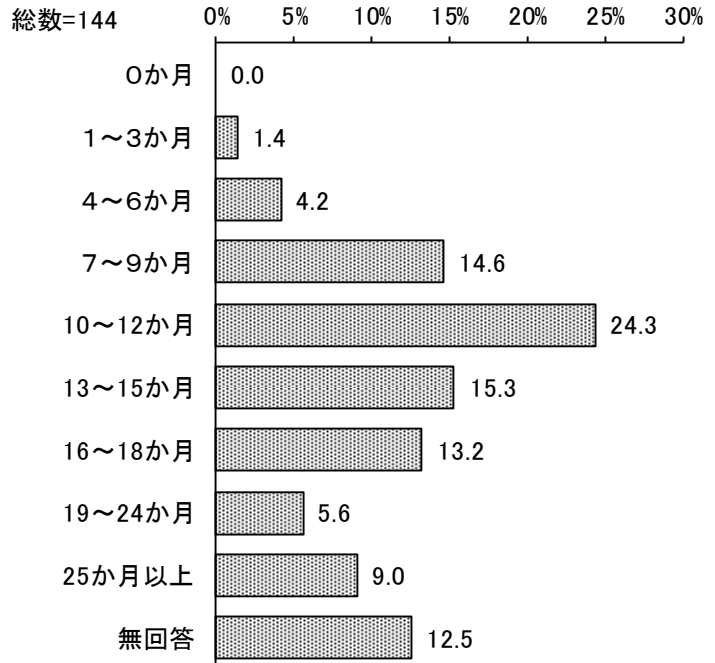
(4) 職場復帰時の子どもの年齢（実際と希望）

問 34-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

【母親】

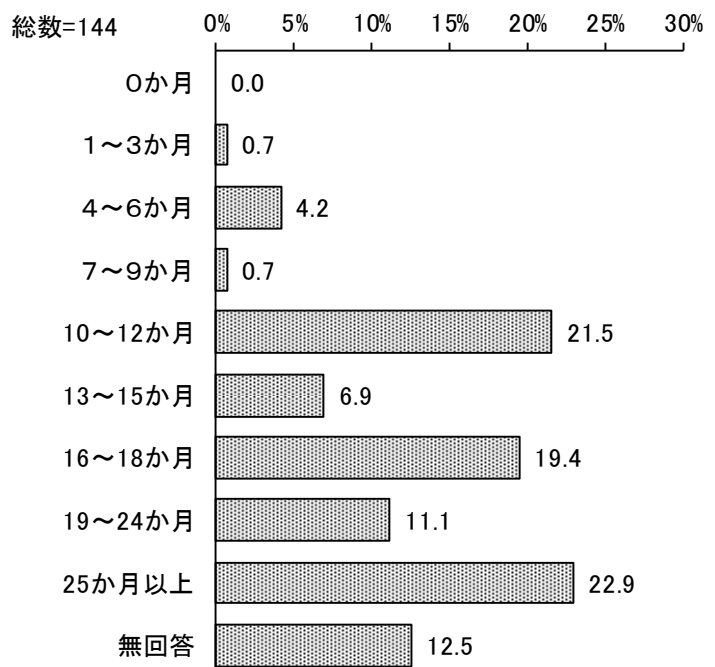
①実際の取得期間

「10～12 か月」が 24.3%で最も多く、次いで「13～15 か月」が 15.3%、「7～9 か月」が 14.6%となっています。



②希望

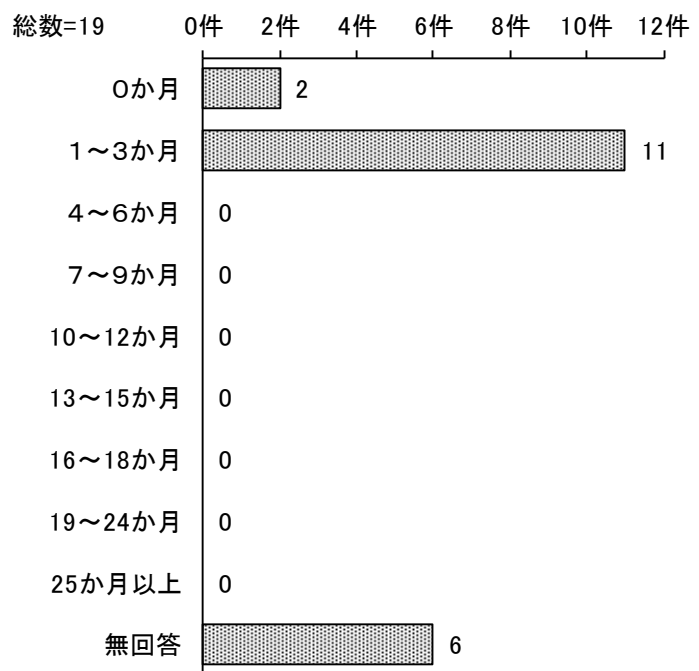
「25 か月以上」が 22.9%で最も多く、次いで「10～12 か月」が 21.5%、「16～18 か月」が 19.4%となっています。



【父親】

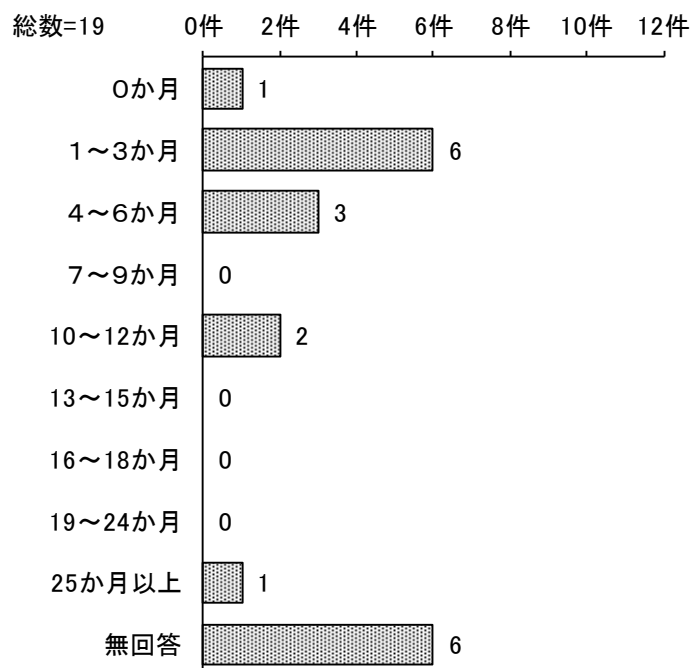
①実際の取得期間

「1～3か月」が11件で最も多く、次いで「0か月」が2件となっています。



②希望

「1～3か月」が6件で最も多く、次いで「4～6か月」が3件、「10～12か月」が2件となっています。

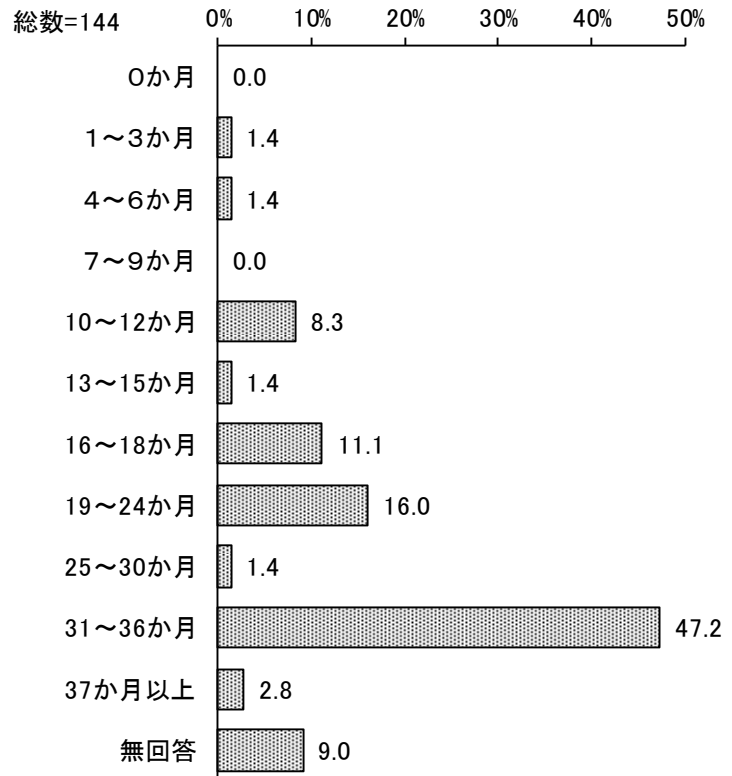


(5) 3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の意向

問 34-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

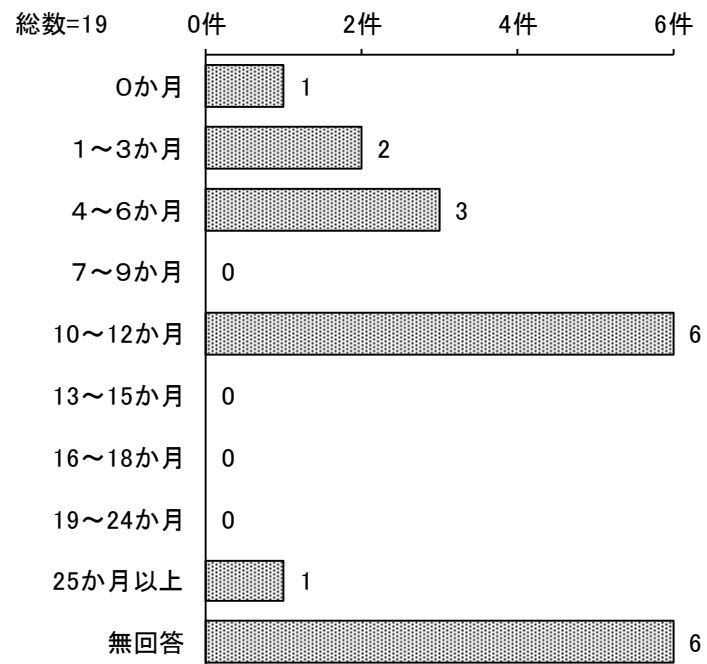
【母親】

「31～36 か月」が 47.2%で最も多く、次いで「19～24 か月」が 16.0%、「16～18 か月」が 11.1%となっています。



【父親】

「10～12 か月」が 6件で最も多く、次いで「4～6 か月」が 3件、「1～3 か月」が 2件となっています。



(6) 希望の時期に職場復帰しなかった理由

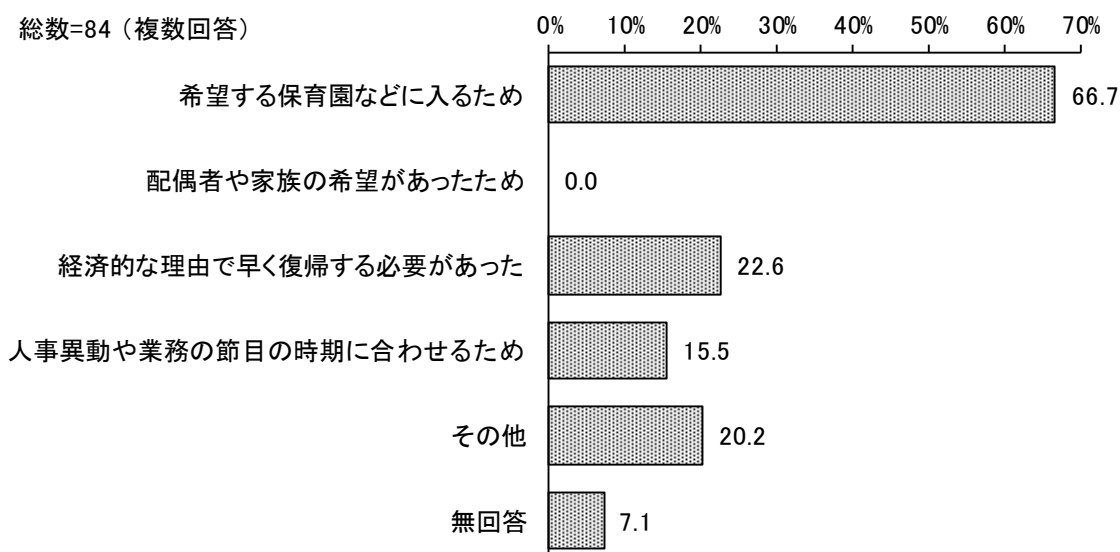
問 34-5 問 34-3 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

①「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

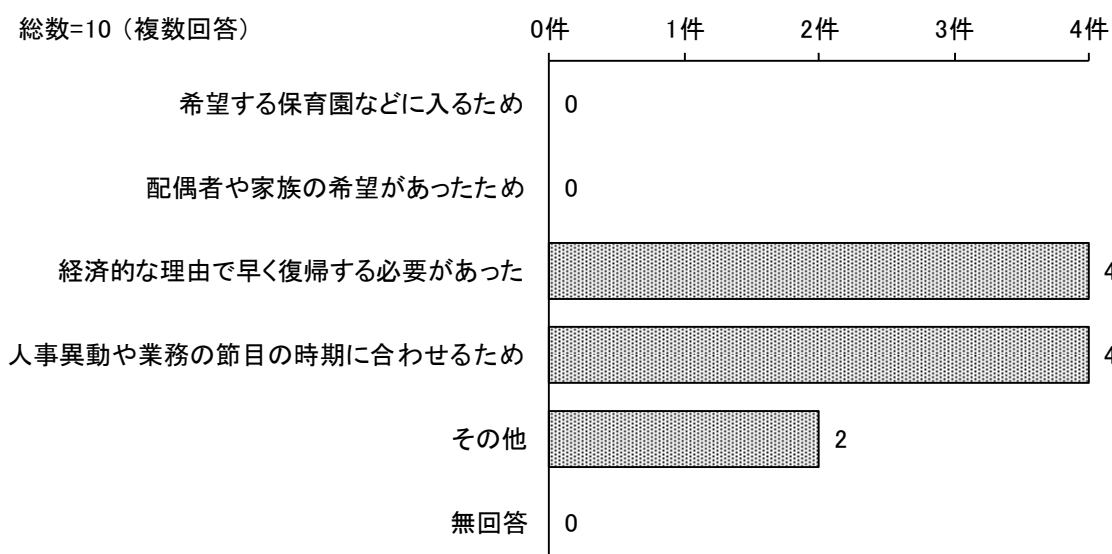
【母親】

「希望する保育園などに入るため」が 66.7%で最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 22.6%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 15.5%となっています。



【父親】

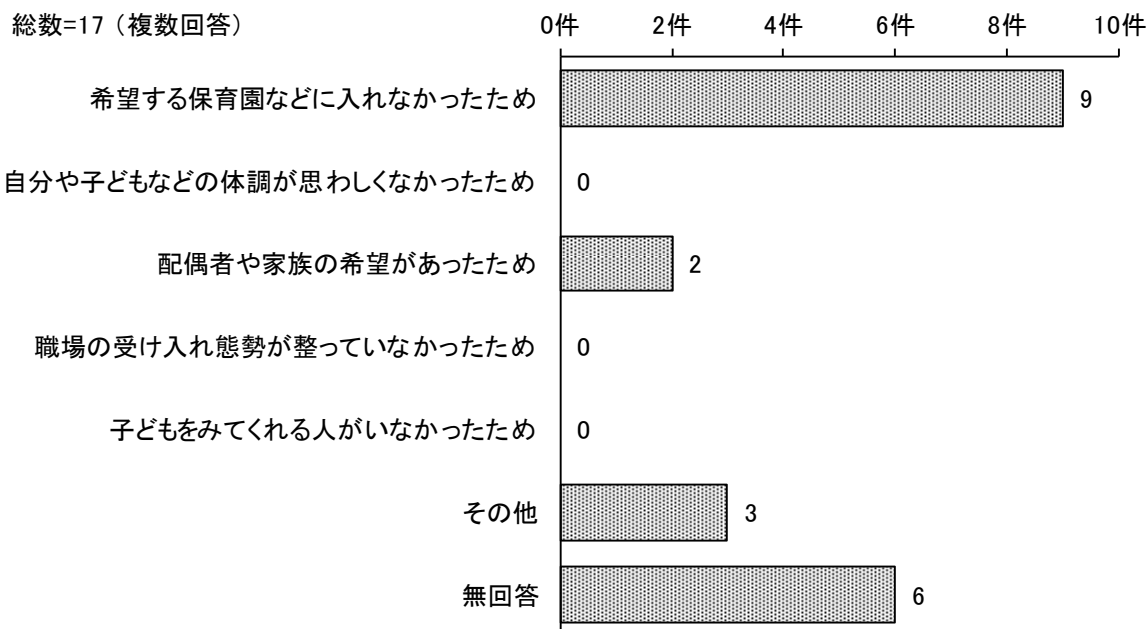
「経済的な理由で早く復帰する必要があった」と「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」がそれぞれ 4 件となっています。



②「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

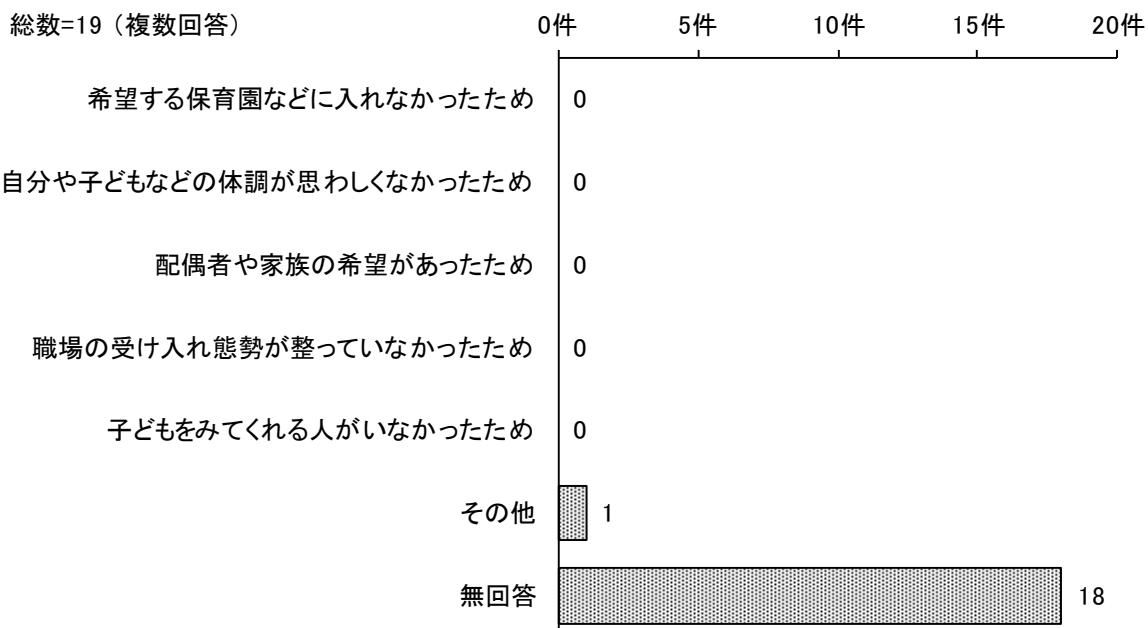
【母親】

「希望する保育園などに入れなかったため」が9件で最も多く、次いで「配偶者や家族の希望があったため」が2件となっています。



【父親】

「その他」が1件となっています。



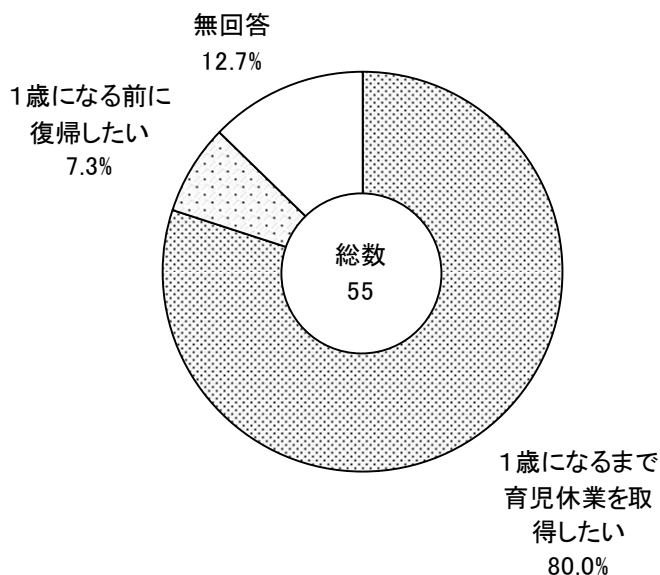
(7) 1歳になるまでの育児休業の取得意向

問 34-1 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 34-6 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

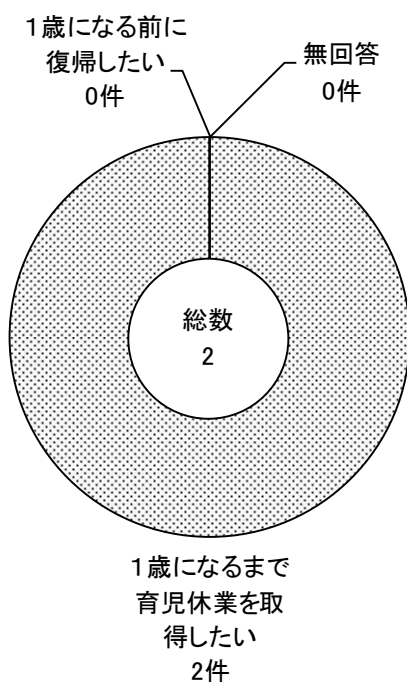
【母親】

「1歳になるまで育児休業を取得したい」が80.0%、「1歳になる前に復帰したい」が7.3%となっています。



【父親】

「1歳になるまで育児休業を取得したい」が2件となっています。

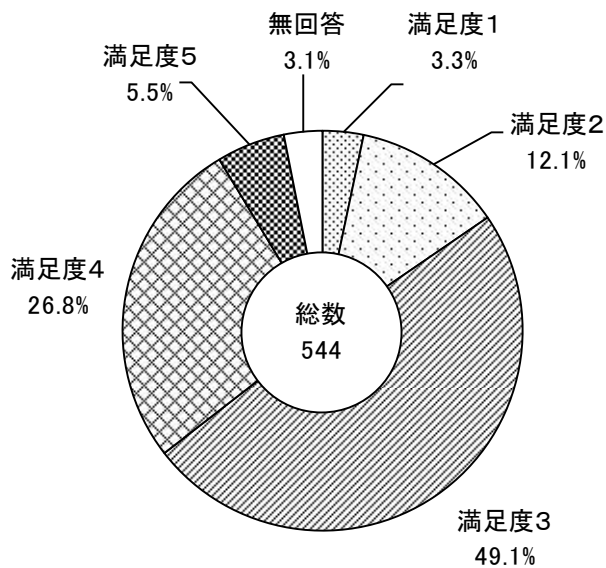


12 住まいの地域における子育ての環境や支援について

(1) 住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度

問 35 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

「満足度3」が49.1%で最も多く、次いで「満足度4」が26.8%、「満足度2」が12.1%となっています。



※満足度は、「満足度1」が最も低く、「満足度5」が最も高い。

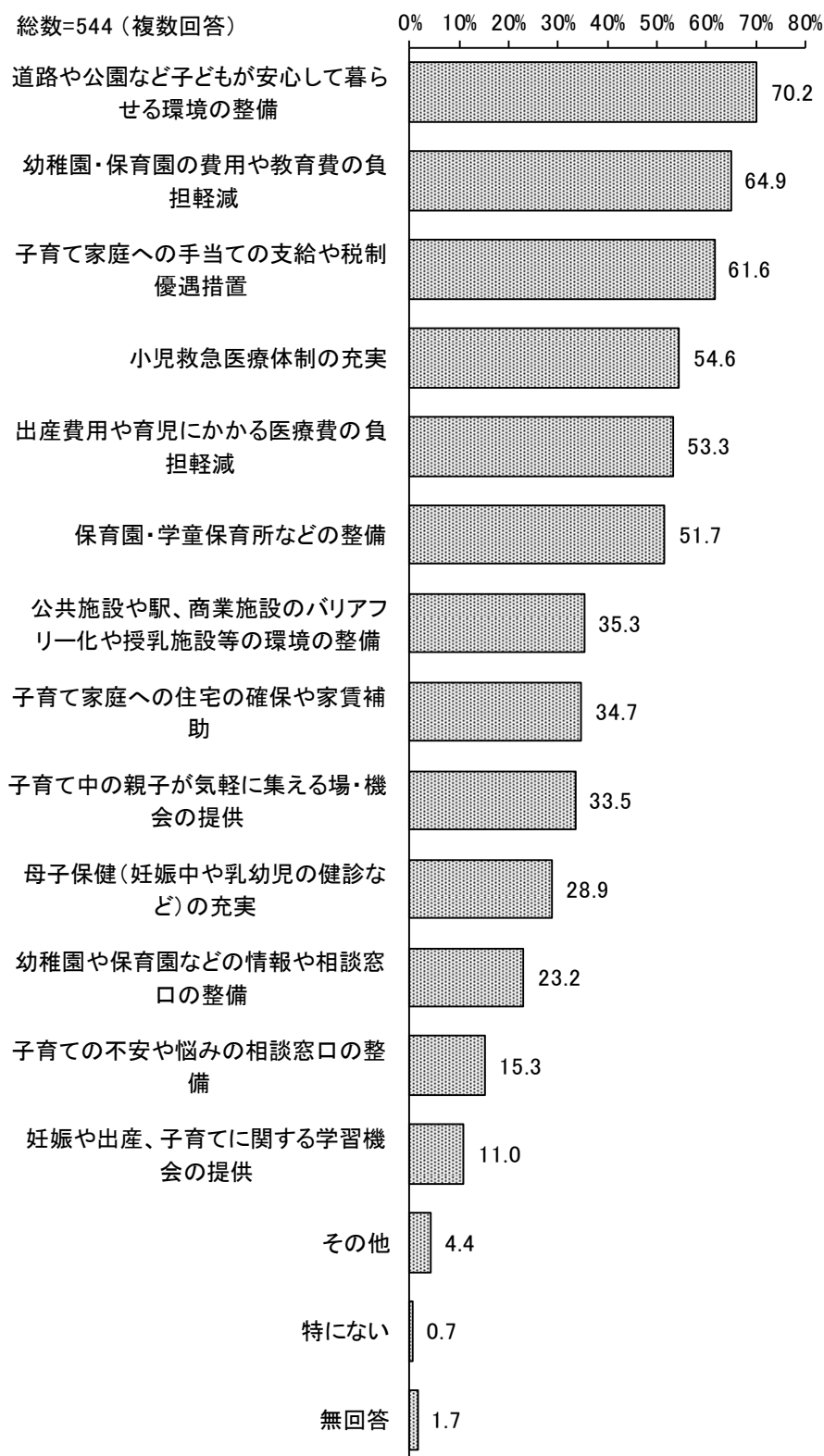
居住地区別に見ると、「満足度4・5」という回答では佐倉東中学校区が42.9%で最も多く、次いで臼井南中学校区が40.0%、佐倉中学校区が39.7%となっています。

		全体	満足度 1・2	満足度 3	満足度 4・5	無回答
全体		544 100.0	84 15.4	267 49.1	176 32.4	17 3.1
居住地区	佐倉中学校区	58 100.0	9 15.5	26 44.8	23 39.7	-
	志津中学校区	89 100.0	13 14.6	41 46.1	32 36.0	3 3.4
	上志津中学校区	33 100.0	4 12.1	20 60.6	9 27.3	-
	南部中学校区	34 100.0	7 20.6	19 55.9	6 17.6	2 5.9
	臼井中学校区	36 100.0	6 16.7	18 50.0	10 27.8	2 5.6
	井野中学校区	40 100.0	8 20.0	19 47.5	11 27.5	2 5.0
	佐倉東中学校区	35 100.0	7 20.0	13 37.1	15 42.9	-
	臼井西中学校区	28 100.0	1 3.6	21 75.0	5 17.9	1 3.6
	西志津中学校区	58 100.0	7 12.1	28 48.3	22 37.9	1 1.7
	臼井南中学校区	40 100.0	6 15.0	18 45.0	16 40.0	-
	根郷中学校区	47 100.0	7 14.9	24 51.1	14 29.8	2 4.3
	無回答	46 100.0	9 19.6	20 43.5	13 28.3	4 8.7

(2) 今後の佐倉市における子育ての環境や支援に対する期待

問 36 今後の佐倉市における子育ての環境や支援について、どのようなことを期待しますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備」が 70.2%で最も多く、次いで「幼稚園・保育園の費用や教育費の負担軽減」が 64.9%、「子育て家庭への手当での支給や税制優遇措置」が 61.6%となっています。



居住地区別に見ると、「母子保健（妊娠中や乳幼児の健診など）の充実」という回答では上志津中学校区が 45.5%、「子育て中の親子が気軽に集える場・機会の提供」という回答では佐倉中学校区が 55.2%、「道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備」という回答では西志津中学校区が 84.5%、「公共施設や駅、商業施設のバリアフリー化や授乳施設等の環境の整備」という回答では西志津中学校区が 51.7%、「小児救急医療体制の充実」という回答では南部中学校区が 70.6%と、他の地区と比較して多くなっています。

	全体	母子保健（妊娠中や乳幼児の健診など）の充実	保育園・学童保育所などの整備	子育て中の親子が気軽に集える場・機会の提供	道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備	公共施設や駅、商業施設のバリアフリー化や授乳施設等の環境の整備	子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	幼稚園や保育園などの情報や相談窓口の整備	妊娠や出産、子育てに関する学習機会の提供	出産費用や育児にかかる医療費の負担軽減	幼稚園・保育園の費用や教育費の負担軽減	子育て家庭への手当での支給や税制優遇措置	子育て家庭への住宅の確保や家賃補助	
全体	544 100.0	157 28.9	281 51.7	182 33.5	382 70.2	192 35.3	83 15.3	126 23.2	60 11.0	290 53.3	353 64.9	335 61.6	189 34.7	
居住地区	佐倉中学校区	58 100.0	16 27.6	29 50.0	32 55.2	40 69.0	19 32.8	11 19.0	10 17.2	8 13.8	32 55.2	42 72.4	37 63.8	23 39.7
	志津中学校区	89 100.0	30 33.7	52 58.4	33 37.1	65 73.0	36 40.4	12 13.5	24 27.0	8 9.0	49 55.1	56 62.9	62 69.7	29 32.6
	上志津中学校区	33 100.0	15 45.5	16 48.5	6 18.2	25 75.8	9 27.3	6 18.2	11 33.3	7 21.2	19 57.6	23 69.7	22 66.7	14 42.4
	南部中学校区	34 100.0	13 38.2	22 64.7	11 32.4	27 79.4	11 32.4	9 26.5	9 26.5	7 20.6	19 55.9	24 70.6	26 76.5	14 41.2
	臼井中学校区	36 100.0	8 22.2	22 61.1	6 16.7	26 72.2	9 25.0	3 8.3	5 13.9	1 2.8	15 41.7	20 55.6	19 52.8	10 27.8
	井野中学校区	40 100.0	9 22.5	21 52.5	9 22.5	27 67.5	14 35.0	4 10.0	10 25.0	4 10.0	21 52.5	29 72.5	23 57.5	16 40.0
	佐倉東中学校区	35 100.0	7 20.0	21 60.0	9 25.7	23 65.7	12 34.3	7 20.0	8 22.9	5 14.3	22 62.9	23 65.7	22 62.9	16 45.7
	臼井西中学校区	28 100.0	8 28.6	11 39.3	8 28.6	18 64.3	12 42.9	4 14.3	10 35.7	2 7.1	17 60.7	20 71.4	10 35.7	6 21.4
	西志津中学校区	58 100.0	16 27.6	27 46.6	25 43.1	49 84.5	30 51.7	7 12.1	12 20.7	3 5.2	32 55.2	35 60.3	34 58.6	21 36.2
	臼井南中学校区	40 100.0	12 30.0	14 35.0	12 30.0	20 50.0	10 25.0	7 17.5	9 22.5	2 5.0	16 40.0	23 57.5	23 57.5	8 20.0
	根郷中学校区	47 100.0	13 27.7	28 59.6	16 34.0	31 66.0	14 29.8	6 12.8	10 21.3	7 14.9	29 61.7	30 63.8	31 66.0	13 27.7
	無回答	46 100.0	10 21.7	18 39.1	15 32.6	31 67.4	16 34.8	7 15.2	8 17.4	6 13.0	19 41.3	28 60.9	26 56.5	19 41.3

	小児救急医療体制の充実	その他	特にない	無回答	
全体	297 54.6	24 4.4	4 0.7	9 1.7	
居住地区	佐倉中学校区	28 48.3	1 1.7	-	-
	志津中学校区	58 65.2	4 4.5	-	-
	上志津中学校区	17 51.5	2 6.1	-	-
	南部中学校区	24 70.6	-	-	1 2.9
	臼井中学校区	16 44.4	4 11.1	-	1 2.8
	井野中学校区	22 55.0	1 2.5	1 2.5	1 2.5
	佐倉東中学校区	18 51.4	-	2 5.7	-
	臼井西中学校区	16 57.1	1 3.6	-	2 7.1
	西志津中学校区	32 55.2	3 5.2	-	1 1.7
	臼井南中学校区	17 42.5	3 7.5	1 2.5	-
	根郷中学校区	26 55.3	-	-	2 4.3
	無回答	23 50.0	5 10.9	-	1 2.2

年齢別に見ると、0歳で「母子保健（妊娠中や乳幼児の健診など）の充実」が40.0%、「保育園・学童保育所などの整備」が60.0%、「子育ての不安や悩みの相談窓口の整備」が24.0%と、他の年齢と比較して多くなっています。また、「公共施設や駅、商業施設のバリアフリー化や授乳施設等の環境の整備」という回答では0歳が52.0%、1歳が48.9%、「幼稚園や保育園などの情報や相談窓口の整備」という回答では1歳が35.6%と、他の年齢と比較して多くなっています。

	全体	母子保健（妊娠中や乳幼児の健診など）の充実	保育園・学童保育所などの整備	子育て中の親が気軽に集える場・機会の提供	道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備	公共施設や駅、商業施設のバリアフリー化や授乳施設等の環境の整備	子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	幼稚園や保育園などの情報や相談窓口の整備	妊娠や出産、子育てに関する学習機会の提供	出産費用や育児にかかる医療費の負担軽減	幼稚園・保育園の費用や教育費の負担軽減	子育て家庭への手当での支給や税制優遇措置	子育て家庭への住宅の確保や家賃補助	
全体	544 100.0	157 28.9	281 51.7	182 33.5	382 70.2	192 35.3	83 15.3	126 23.2	60 11.0	290 53.3	353 64.9	335 61.6	189 34.7	
年齢	0歳	125 100.0	50 40.0	75 60.0	48 38.4	86 68.8	65 52.0	30 24.0	36 28.8	21 16.8	80 64.0	89 71.2	85 68.0	51 40.8
	1歳	45 100.0	11 24.4	23 51.1	17 37.8	31 68.9	22 48.9	6 13.3	16 35.6	2 4.4	28 62.2	31 68.9	31 68.9	19 42.2
	2歳	107 100.0	30 28.0	51 47.7	42 39.3	79 73.8	41 38.3	18 16.8	27 25.2	15 14.0	57 53.3	76 71.0	73 68.2	48 44.9
	3歳	87 100.0	28 32.2	43 49.4	26 29.9	61 70.1	21 24.1	13 14.9	16 18.4	10 11.5	45 51.7	57 65.5	51 58.6	29 33.3
	4歳	59 100.0	11 18.6	31 52.5	12 20.3	37 62.7	12 20.3	3 5.1	7 11.9	1 1.7	24 40.7	36 61.0	35 59.3	18 30.5
	5歳	119 100.0	27 22.7	57 47.9	37 31.1	87 73.1	31 26.1	13 10.9	24 20.2	11 9.2	56 47.1	64 53.8	60 50.4	24 20.2
	無回答	2 100.0	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	-

	小児救急医療体制の充実	その他	特にない	無回答	
全体	297 54.6	24 4.4	4 0.7	9 1.7	
年齢	0歳	72 57.6	3 2.4	-	3 2.4
	1歳	26 57.8	2 4.4	1 2.2	1 2.2
	2歳	63 58.9	7 6.5	-	2 1.9
	3歳	50 57.5	1 1.1	-	2 2.3
	4歳	32 54.2	3 5.1	-	-
	5歳	54 45.4	8 6.7	3 2.5	-
	無回答	-	-	-	1 50.0

現在の家庭類型別に見ると、タイプDで「母子保健(妊娠中や乳幼児の健診など)の充実」が39.6%、「道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備」が79.7%と、他の類型と比較して多くなっています。また、「保育園・学童保育所などの整備」という回答ではタイプBが66.9%、タイプCが63.4%と、他の類型と比較して多くなっています。

	全体	母子保健(妊娠中や乳幼児の健診など)の充実	保育園・学童保育所などの整備	子育て中の親子が気軽に集える場・機会の提供	道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備	公共施設や駅、商業施設のバリアフリー化や授乳施設等の環境の整備	子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	幼稚園や保育園などの情報や相談窓口の整備	妊娠や出産、子育てに関する学習機会の提供	出産費用や育児にかかる医療費の負担軽減	幼稚園・保育園の費用や教育費の負担軽減	子育て家庭への手当ての支給や税制優遇措置	子育て家庭への住宅の確保や家賃補助	
全体	544 100.0	157 28.9	281 51.7	182 33.5	382 70.2	192 35.3	83 15.3	126 23.2	60 11.0	290 53.3	353 64.9	335 61.6	189 34.7	
現在の家庭類型	タイプA ひとり親	27 100.0	7 25.9	13 48.1	5 18.5	17 63.0	8 29.6	1 3.7	6 22.2	1 3.7	12 44.4	16 59.3	18 66.7	15 55.6
	タイプB フル×フル	172 100.0	39 22.7	115 66.9	58 33.7	111 64.5	67 39.0	28 16.3	35 20.3	22 12.8	91 52.9	111 64.5	111 64.5	51 29.7
	タイプC フル×パート	71 100.0	17 23.9	45 63.4	20 28.2	48 67.6	18 25.4	11 15.5	18 25.4	6 8.5	34 47.9	45 63.4	42 59.2	24 33.8
	タイプC' フル×パート	57 100.0	12 21.1	27 47.4	19 33.3	38 66.7	10 17.5	4 7.0	13 22.8	5 8.8	30 52.6	36 63.2	34 59.6	20 35.1
	タイプD 専業主婦(夫)	202 100.0	80 39.6	74 36.6	75 37.1	161 79.7	84 41.6	35 17.3	51 25.2	24 11.9	117 57.9	140 69.3	125 61.9	76 37.6
	タイプE パート×パート	1 100.0	-	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-
	タイプE' パート×パート	-	*	-	*	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	タイプF 無業×無業	1 100.0	-	-	-	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	13 100.0	2 15.4	6 46.2	5 38.5	5 38.5	3 23.1	3 23.1	3 23.1	2 15.4	6 46.2	5 38.5	5 38.5	3 23.1

	小児救急医療体制の充実	その他	特にない	無回答	
全体	297 54.6	24 4.4	4 0.7	9 1.7	
現在の家庭類型	タイプA ひとり親	9 33.3	-	-	-
	タイプB フル×フル	96 55.8	8 4.7	1 0.6	1 0.6
	タイプC フル×パート	37 52.1	4 5.6	1 1.4	2 2.8
	タイプC' フル×パート	25 43.9	3 5.3	1 1.8	1 1.8
	タイプD 専業主婦(夫)	122 60.4	8 4.0	1 0.5	4 2.0
	タイプE パート×パート	-	-	-	-
	タイプE' パート×パート	-	*	*	*
	タイプF 無業×無業	1 100.0	-	-	-
	無回答	7 53.8	1 7.7	-	1 7.7

(3) 自由意見

問 37 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

有効回収数 544 票中 214 票に記述がありました（1 票の中に複数の分野にまたがる回答もあるため、各項目の回答件数の合計は 214 件より多くなっています）。以下に回答内容の中から一部を抜粋・調整し、掲載しました。

<主な回答内容>

①質の高い教育・保育の総合的な提供（37 件）

- ・私は今の保育園にとっても満足しています。しかし、満足と思える保育園は、3つ目でした。保育園の中であまり差がでないようだととても良いと思います。そこを“市”が少しずつ整えていってもらえたらどこでも入園させたい保育園になるのではないのでしょうか？安心・安全の統一を望みます。
- ・保育園を利用していますが、両親がフルタイムで働いているため、習い事をさせてあげたいが難しい。幼稚園では英語や体操教室など内容が豊富なので、小学生になったときに差が出てしまうのではないかと心配。保育園で時間外の時間帯などを利用して（または時間内）、希望者の方を対象に体操教室などを開いていただけると助かります。
- ・保育園での布団、オムツ持ち帰りの廃止（衛生面と手間を廃止）。
- ・3歳以下をもう少し気軽に預けられる機会を増やして欲しいです。働いていない親としてずっと一緒がとてもしんどいです。
- ・一時保育の利用申込が一週間前なので、当日空きがあれば当日でも預かってもらえるようになると、病院などに行きやすい。急な用事や病気は子ども2人になると、とても疲れる。保育園ごとにホームページを開設して、予約システムのように空いている日がわかると問い合わせしやすい。
- ・息詰まったときに一時預かりを利用しようと思ったら、月初めにかかわらず空きがなかったり、アレルギーは非対応だったりして受け入れてもらえず、誰も助けてくれないのか・・・という気持ちになりました。一時預かりは以前利用している方が先に予約を入れてしまったりするので、新規枠をつくるなど改善して欲しいです。また、アレルギーについてはお弁当持参などで対応の幅を広げて欲しいです。事前に面談などがあり、気軽に利用できません。
- ・給食は自校給食で、とても娘も喜んでます。保育園も公立に入っていますが、離職する先生も少なく安心しています。
- ・保育園ごとに（公立、民間）質が大きく違うと思う。行っている習い事はその施設の個性だが、今は保育園児も習い事をしているのは当たり前の時代です。子どもの安全が第一ですが、それ以上に子どもにたくさんの経験をさせてあげたいと思います。働いていると送迎に時間がつくれず、習い事を諦めることも多く、保育園でも色々やらせてもらえたらと思います。最近は若い先生が多く、お手本となる先生がいないのでは？と子どもへの叱り方や接し方をみて感じるがあります。大切な子どもを預かってくれる保育士の数の確保と質の向上を強く求めます。
- ・国が決めたことですが、幼保無償化は確かに助かりますが、子どもを見てくださる保育士さんの待遇の向上なども気になります。無償化する前に、働く方の環境改善と離職率の低下に繋がる施策を自治体から国に要求することを望みます。

②地域における子育て支援（81件）

- ・学童を増やしてほしいです。学区によっては私立を選べる所もあるので羨ましく感じます。小学校の放課後を充実させてあげたいです（おじいさん、おばあさん世代との交流など）。
- ・学童保育を全ての小学校の敷地内に設置して欲しい。小学校長期休業中（夏休み・冬休み）の学童保育施設での給食の支給。幼稚園、保育園の無償化ばかりが実現されそうですが、学童保育所への整備が手薄になっている気がします。見直しをお願いします。
- ・入学予定の小学校の学校内に学童がありますが、希望者が多く1・2年しか学校内の学童に通えず、3年生からは学外の学童に通っていると聞きます（間野台小）。学外に出ると事故や事件に巻き込まれる可能性が高く、小学校内にいてくれると安心です。規模を拡大して働く方を増やして対応してもらえないかと考えます。
- ・幼稚園では延長保育など、当日急な用事があっても預かっていただくことが出来、大変助かります。なので小学校ではそのような対応がないため、特に低学年のうちは突発的にも学童等、放課後にも見てもらえる施設があると良いと思いました。保護者会や個人面談など、学校に関する用事の時だけでも子どもを学校内で見てもらえると助かります。
- ・ファミリーサポートの説明会に参加しましたが、急を要する場合の利用は難しいと感じました。
- ・色々な施設があっても知らなければ利用することも出来ないのも、もっと情報が知れるもの（広報誌やHP）が定期的に手に入ると良いです。
- ・情報提供が少ないと感じます。自発的に施設に行かない限り情報がなかなか得られません。子育て支援センターなどHPを見ても内容が分かりにくかったり、更新されていなかったり・・・。市役所や出張所にはチラシがあることも行ったときに初めて知りました。素晴らしい取組であっても、周知の方法の仕方で印象が変わってしまうので、もっと工夫していただけると有難いです。
- ・佐倉市は、子育て支援が手厚く情報も入って来やすいと思います。子育て支援ガイドブックは情報がまとまっていてわかりやすく、引っ越してきたばかりの私にとってもありがたいです。
- ・児童館の託児付のリトミックがすごく助かりよかったです。下の子が2歳差で生まれ、あまりゆっくり接してあげられなかったのも、本人の心も少し安定したように思えました。
- ・娘が根郷公民館で行っていた「ぼっぼちゃんクラブ」をとっても楽しみに参加しておりました。人見知りで、私から離れることが少ない娘でしたが、日を重ねる毎に自分から先生に挨拶したり、話しかけたりと積極的に関わろうとする姿を見ることができ、私もとても嬉しく思いました。また託児があり、下の子を預けられたので、娘との時間を過ごすことが出来て感謝しております。このような取組を継続していただきたいと思います。
- ・私は2歳、0歳の子を日中育てていて息が詰まりそうですが、何とか頑張って児童センターや支援センターへ行っています。でも結局行っても自分が大変なだけで・・・誰か先生が話を聞いてくれたり、助けてくれるわけではなく、「子育ては自分でしなさい。私たちは場所を提供しているだけ・・・」という感じで、佐倉市は子育てしづらいと思いました。なので、もっと受け止めてくれる温かい職員の方がが必要です。また、他市では0歳の子も行きやすいようにミルクを作れるポットが用意されていました。離乳食やお弁当を温めるレンジもありました。佐倉市もそれがあつた方が子育てしやすいと、私たち母親は思います。せめて、どの児童館や支援センターにもポットとレンジを置いてください。
- ・自分が希望する環境や支援でどんなサービスや施設が適合しているのか？案内と一緒に考えてくれるコンシェルジュ的な存在があると頼れて助かる（充実して選べることが多いと、悩み迷いすぎて逆にどこも頼れず、引きこもってしまうので）。

- ・子ども達の年齢が離れているため、悩みが多様化しているが青年期はあちらへ、小学生はこちらへ、幼児はあちらへ等、相談できる場所が違うのでとても困ります。
- ・徒歩圏内で公園や子育て支援センター等の施設もなく不便に感じています。親子で楽しめるイベントなど周知にもっと力を入れて欲しいです。以前、保健センターの母子向け相談事業に参加した際に、保健師の方と話しがかみ合わず、とても嫌な思いをしたことがありました。それ以来、相談事業に参加する際は、別の方とお話し出来るようにしていただいています。悩みや不安に思っていることを素直に伝えられなくなりました。他にも同じ思いをしている人が出てしまわないよう、指導・研修等を強化していただきたいです（特にベテランの方々）。
- ・子ども食堂の充実（メニュー、頻度、場所）。
- ・私立幼稚園の保育料や預かり保育料が高い。働くために預かりを使ったり、体調を崩したときに病児保育を使わなければやっていけない場合、パート勤務では出費とほぼ変わらなくなるかも？と思ったりします。子どもの教育費のためにも働きたいけど、実家等頼る所が無いとなかなか大変だなと思います。
- ・双子世帯は金銭的に大変なのでサービス（有料のもの）は利用できません。支援して欲しいです。
- ・保育料の無償化。
- ・子どもの医療費の無償化を実現していただきたい。
- ・子どもの教育関係には何かとお金がかかるので、手当や税制が優遇されたら非常にありがたいです。

③すこやかに生まれ育つ環境づくり（27件）

- ・保健師の質を高めて欲しいと健診のたびに思います。
- ・第2子出産を控え、産後ケアを検討したが、第1子と一緒に利用できず断念。上の子にケアも含め利用できる制度が欲しい。
- ・市の健診に行っても係の方が早口だったり、流れ作業のように終わることがあるので、小さい子連れでは、行っても疲れるだけのことが多い。
- ・小児科が少ないことに困っています。少ないので予約を取ることも難しく、その日のお昼に熱を出しても受診出来なかったことがありました。その際、近所の内科へ行きましたが、そこも地域唯一の内科のためか、患者さんの数が多く、待ち時間は長く、先生もお疲れの様子でした。先生も「近所に小児科があればなあ」と言っていたそうです。お年寄りの多い地域ですが、子どもがいないわけではなく、そういう不便さは若い世帯が離れる原因にもなると思います。この地域にも内科・小児科・外科等そろったメディカルストリートが欲しいです。
- ・夜間や休日に小児救急医療センターがあつて大変助かっています。
- ・先日、聖隷の小児科に入院しました。初めての子、初めての入院、右も左も分からない慣れない場所、いつまでかかるのか、子どもは大丈夫なのか、不安の中、スタッフの対応がパンフレットとはとてもかけ離れていた。市民病院とは名だけなのだろうか……。不親切で人手も足りないようで、言うこともバラバラ……。「やるときます」と言ってやってくれない。名前を覚えられない、男か女なのかもわからない、説明は無し、夜間は一度も見回りなし。ナースコールを押すと「何ですか？」と言われました。病院を選べないって不安です。
- ・健康管理センター内にある、小児急病夜間診療はとても助かっており、利用させていただいています。ただ内科系の診療のみということで、先日子どもが骨折した際には、病院を探すのに大変でした。外科系の対応をもっと多くしていただけると今後も安心します。

- ・医療機関にオムツ替えのスペースが無い事が多いです。子どもを連れて受診せざるを得ないとき、困ることが度々ありました。

④仕事と子育てを両立させる社会づくり（36件）

- ・父親が育児に関わる時間が増えるように制度を整えてほしい。制度があっても使えない現状では意味がない。
- ・誰でも産前産後は休み、育児休業を取れるようにしてほしい。1年経ってなくても取れるようにしてほしい。
- ・入りたい時期に入れたい保育園に入れるような保育園の充実。
- ・子どもが1歳半の時に離婚し、仕事をするため保育園に相談に行ったのですが、空きがないと言われました。仕事が既に決まっている人が最優先になると言われたのですが、預け先がないのに雇ってくれる職場なんて滅多にないと思います。その事を市役所の方に言い「保育園が空くまでみなさんどうしているのか？」と聞いたところ、「おじいちゃんおばあちゃんに預かってもらって働く人が多い」と言われました。そういった預け先がないから保育園に入れたいのに、結果的にそういった預け先がある人が先に仕事を見つけられ、優先順位も高くなるなんておかしいと感じ、その後市役所には相談したいと思えなくなりました。
- ・残業をお願いされ、毎回断るのが申し訳ないです（職場に）。突発の残業があっても安心して預けられるような感じになると良いなと思います。「残業のためお迎えが遅くなります」「OK」みたいな・・・。
- ・託児施設のある働き先を増やしてほしい。
- ・日曜・祝日も預かってもらえる園がないと、医療・福祉系、サービス系の従事者はとても職場で立場が狭い気分になります。そのシステム作りをしていただきたいです。
- ・現在、認可保育園を利用していますが、保育園に「父母どちらかが休みの時は自宅で」と掲示してあります。土日仕事でも預けられないし、シフトによっては週に1日、2日しか出席できないことになってしまい、とても不公平に思います。平日休みでも子どもには規則正しく保育園での生活リズムや教育を受ける権利があると思いますが、親のシフトに合わせて子どもも休まなくてはならないのはおかしいと思います。平日休みの時に子どもを休ませるなら、土日仕事の時も保育していただくのが筋です。日曜日に預けられないため、親に無理を言ったり、税金は納めているのに、保育料は他の方より高くても預けられない日があるのは間違っていると思いませんか！
- ・病児・病後児保育の施設の場所に片寄りがあり利用しづらい。市内全域にまんべんなくあるととても有難い。
- ・病児・病後児保育の環境の整備をしていただきたい。施設が少なすぎるため、実際に預けることが難しいという話を多く聞きます。予約も出来ずキャンセルを待つ状況では、共働きの家庭においては仕事の都合もつかず、結果として時間と労力の無駄になります。子育て家庭への手当て支給もありがたいですが、環境整備に取り組んでいただき、皆が利用できるようにしてほしい。
- ・病後児保育に預けて働くのに、代金支払いが郵便局や銀行というのは無理がある。もっと柔軟に病後児保育に預ける親が支払いしやすい方法を考えることが出来ないものか……。また、病児・病後児施設の支払い方法が異なったり、書類が統一していないのはなぜなのか……。紙が多すぎて働くために預けたのに用紙を揃えるだけでも大変。
- ・保育園は自営業者に厳しいところがあるので、他の人と同じ待遇にして欲しい。どうして自営業だとポイントが低いのかわかりません。育児休業、雇用保険がないのにどうしてポイントが低い

のか。

- ・保育園について、以前、子育て支援課に話を聞きに行った際に、0歳児の4月入園が一番入園しやすいと伺い、実際に保育園に見学に行った際も同じことを言われました。しかし、育休は最大子どもが2歳になる歳まで取得できるのに、預けたいときに預けられない可能性が高い事を知り不安になりました。仕事も大事だし子どもとも一緒にいたい。1歳で預けたいと思っても、入園できる可能性がかなり低くなるとのことだったので、今後少しでも受入人数の増員や保育施設を増やしていただけるとありがたいです。

⑤配慮が必要な子ども・子育て家庭への支援（5件）

- ・母子家庭で未婚の母ですが、佐倉市はみなし寡婦控除制度がないため、年末調整で寡婦控除が受けられません。受けられるようにしてほしいです。親と同居のため扶養手当がもらえず、その他の手当てもいただかず、自立のための貯蓄がなかなか増えません。適用してほしいです。自立と前向きな子育てのために上記はぜひ検討していただけたら、後の出産する方々のためにも・・・よろしく願い致します。
- ・必ずしも定型発達している子ども達だけではないです。少数派の子供にも目を向けてください。
- ・障害児の受入があってもその施設で働いている方の理解や認識不足が多く見られることが多々あります。このアンケートでも定期発達児を基準（人数が多いので理解はしていますが）で答えにくく、どこに当てはまるのかよくわかりませんでした。
- ・我が子は自閉症児で、健常の子ども達との違いも多く、預かり方も大変だとは思いますが、先生方の対応が納得いくものではなく、保育園に通っていますが、とてもガッカリしています。息子はたくさんのかんことを学べたのだろうか？と・・・。そして認可保育園なのにもかかわらず、「こういう子どもの対応をどこに相談したらいいのかわからない」と言われました。認可しているのであれば、もっと密に連携を取ったり、相談窓口をつくるなりして欲しい。正直とても子育てしにくい街だと思います。改善を望みます。
- ・市でやっている、ことばの発達の相談の回数を増やしてほしい。また、発達が心配な子が早く気づけるように市の健診を充実してほしい。そして、そういう子を、その子、その子にあった訓練を充実させてほしい。

⑥子どもの最善の利益を支える仕組みづくり（55件）

- ・子ども達が安心して遊べる公園などが近くにないため、家で遊ばせているが、車を使って外に出るしかないのもっとそういうところを増やして欲しい。
- ・公園のトイレを整備してほしいです（オムツ替えシートなど）。公園の遊具を充実させてほしい（つまらない公園が多過ぎる←ただあるだけで意味がない）。公園の充実は人口が増えると思う（地域が充実していくと思う）。とにかく公園が佐倉市はつまらなすぎる。
- ・子育て支援が充実した他市から転入してきたので、物足りなく思うことが多いです。真夏に公園で遊べないときに、小学生も幼稚園児も一緒に遊べるような施設が今一番ほしいです。公園も昔ながらのブランコ、すべり台、砂場しかないところが多いので、遊具を増やして欲しいです。
- ・公園等で小中学生がサッカーや野球をやっており、幼児にとって危険を感じる事がある（事故が起きてからだ遅いと思うが・・・）。
- ・公共施設等で授乳施設等増えているが、トイレで小さな子（乳児等）を座らせておける椅子が少ない。抱っこしたままトイレに入ることがあるので、個室トイレに乳児用の椅子の設置を増やし

てほしいです。

- ・これから建設するような商業施設などには、キッズトイレや補助便座が設置されているとありがたいと思う。学校のトイレは洋式変更していただきたい。学校のエアコン設置は必須だと思う。
- ・佐倉市は道路が狭かったり大型の車が狭い道を利用したりと、ベビーカーを利用するのに不安なところが多いです。小学校の子どもを遊ばせるのにも一人で行かせるのをためらうような場所もあるので見直していただきたい。
- ・小学校までの通学路が危ない。白線すらない道路、路駐が多く視野が遮られる。電柱が迫り出している。安全に歩けるよう整備して欲しい。
- ・保育園や幼稚園の建物について、老朽化した建物については、建て替えが出来るようにしていただきたい。
- ・児童センターの月曜定休は止めてほしい。幼稚園行事の振替で月曜が休園となることが多いため。
- ・小2の娘がいます。佐倉東小の学区内に児童館が欲しい。冬場など一つの家に集まりがちになり、家の中に入れないう子（親から止められている）の対処に困っている。児童館があればそこに行かせられる。夏も猛暑なので欲しいです。

⑦その他（33件）

- ・佐倉市は非常に子育てのしやすい環境だと思います。今後も将来ある子ども達のために環境づくりをお願いします。
- ・子どもへのサポート（税制有利や無償化など税制的な優遇措置）が、手厚いのは大変助かりますが、子どものいない世帯の負担が重くなったり、格差があるのもバランスが悪いと思います。自然体の福祉環境の向上を期待します。
- ・保育園の入所申込みに書類が多すぎる。面談が必須である（入園決定後の方がよい）、出張所などではなく市役所でしか受け付けない、など他自治体と比べて手間が多く大変でした。
- ・詳細なアンケートを行いたいのは理解できるのですが、アンケートに答える側からすると、とてもストレスになります。特にアンケートの分岐、「利用者負担～」の文章です。分岐については、インターネットでアンケートをつくれれば、もっとスマートになると思います。「利用者負担～」は一体何のために記述しているのか理解が出来ません。もし「利用したい」とチェックを付けた場合、自宅に勧誘が来るのではないかと警戒してしまいます。もっとアンケートに答える人にとって、負担の少ないものにして欲しいです。
- ・こういった個別でのアンケートではなく、もっと身近に「こうして欲しい」と伝えられる場が欲しい。母子が集まる場で、色々な方が実際に聞きに来て欲しい（子どもが遊んでいると話が出来ないので保育者同伴で）。
- ・佐倉市のユーカリが丘に住んでいます。近くにイオンがあつたり、公園があつたり、ご近所さんにも小さい子どもがたくさんいて、とても子育てしやすい町で、感謝しています。ありがとうございます。

